京城日報
三日夕刊（四日付夕刊併せて八頁）
十一月一日發行

○各方面休戰開始
露過激派總司令官の承諾

露國過激派總司令官クルエレンコは露過激派總司令官と承諾し總ての方面に於て休戰の開始を承諾し十二月二日第三回の會見ある可き事を告げ且つ全軍に對し各方面に於て敵對行動をなせる時に限る可きことを命ぜり（露京電報）

○米對露政策寛大
露國單獨休戰に就き

紐育來電＝米國政府は健全なる民主主義の觀念を示さん爲め露國現下の形勢に關し所謂寛大なる政策を執らんとしつゝあり目下の處にては[illegible]之を敵國と見做すの意無く[illegible]は全露國民をして米國の態度を[illegible]明せり故に若し巴里の聯合會議にて露國に對する[illegible]決議する場合ありとするも米國代表者は之に同意せざるやも測り難しと（倫敦電報）

◎支那新內閣員 國務總理王士珍氏（上右）外交總長陸徵祥氏（上中）內務總長錢能訓氏（上左）司法總長江庸氏（下右）農商總長田文烈氏（下中）海軍總長劉冠雄氏（下左）[illegible]但し[illegible]は署理總長なり

○露休戰實現疑なし
農民大會休戰賛否を否決す

[illegible]農民大會は休戰[illegible]レーニン一派に對し反抗的態度を示せりと（[illegible]電報）

○西比利亞獨立す

オムスクに於て西比利亞獨立政府組織せられポタピン氏を首相に推せり（[illegible]電報）

○墺平和準備成る

[illegible]

○露北軍糧食缺乏

[illegible]

○王士珍閣員任命

[illegible]左の如く任命されたり但し悉く署理總長なり（北京特電）
△外交 陸徵祥 △內務 錢能訓 △司法 江庸 △財政 王克敏 △農商 田文烈 △海軍 劉冠雄 △參謀總長 蔭昌

◎周長出發

[illegible]

◎奧田代議士發釜

[illegible]

◎軍司令官
車中に語る

二日夜歸京せる松川軍司令官の車中談に曰く

△大演習陪觀 後東上して畏くも上陛下に朝鮮駐箚軍の軍狀を上奏し又御下問に奉答して來たさに陸軍の編成改正に就ては何等公式に聞ける事なきも歐洲大戰爭の結果により幾干か軍制改正の必要を生じたるは事實なるべく目下陸軍當局で研究中の樣だ唯其の實行は直ちにと云ふ譯には無論行くまいと思ふ、要するに目下

△研究時代 であるらしい、尚四十師團管下の守備隊集中は十二月三日を以て全部終了の事となつたが其の結果各地に殘つた兵舍並に土地を如何にするかと云ふ問題は今後研究調査の結果決定する事でまだ吾輩の所では何等定まらぬ

△市街の中央 [illegible]

◎農業技術官會議

各道農業技術官會議は來る十日[illegible]

◎東拓債五百萬圓發行
大藏省預金部引受

東洋拓殖會社に於ては其業務[illegible]

△南北に擴大 [illegible]

△金額の授受 [illegible]件は金額五百萬圓各社債の[illegible]

年五分にして社債償還の方法及び期限は發行の日より五箇年据置き後十箇年後に毎年五十萬圓宛[illegible]

△公募の國債 さへ年利六分一二厘を超ゆる際東拓が五分の低利にて五百萬圓の債券を預金部引受けとして發行し得たるは非常の成功と稱し得べく又之等低資の流入により鮮滿產業界の享受する利益も少なからずと稱し得べし

◎元浦線の大阪延長
總督府より朝鮮郵船に命令す

[illegible]

◎興業と東拓
重役決定す

[illegible]
社長 神山潤次
取締役 松平直平
同 信夫淳平
監査役 龍江義信
[illegible]

△五合桝こそ [illegible]

△手許に呼寄 [illegible]

△爭はれざる [illegible]

◎通貨統一
鮮銀券六千五百萬圓に膨脹

[illegible]

◎金建普及
都督府の銀建廢止

[illegible]

◎米穀檢查狀況

[illegible]

○來年度歲入主要項目
國防計畫の充實と社會政策實施

[illegible]
戰前二箇年の所得の平均を以て來年四月以降の所得に比較し其增加額に對して一割を課す
[illegible]
八、郵税 端書、封書、電報料金等を値上す

◎評議員當選通告
初會議は十日頃

[illegible]

△各人各樣の 意見あり[illegible]

◎香港總督動靜

去月中旬以來京元線京義線方面に遊歷中の香港總督サー、ヘンリー、メー氏は二日新義地方より入京し再び朝鮮ホテルに入りたるが三日午前十時山縣政務總監を總督府に訪問し[illegible]

◎藤原交銀顧問入京

支那交通銀行顧問藤原正文氏は三日[illegible]入京天眞樓に投宿せり多分四日頃[illegible]北京へ向ふことゝなる可し

◎金久保旅團長訪問

今回龍山に來任せる金久保旅團長は二日午後二時山縣政務總監、各部長官を總督府に訪問し來任の挨拶を爲したり

◎關屋局長出發

總督府學務局長關屋貞三郎氏は忠淸北道並に[illegible]に於ける公立學校長會議列席[illegible]學事視察の爲め[illegible]三日朝出發せり

◎太田理事入京期

東上中の大田鮮銀理事は一日東京出發鄕里に立寄り四日若くば五日入京すべし

◎警察官送迎宴

[illegible]諸氏の發起にて二日午後五時より[illegible]明月館に開き[illegible]頗る盛會なりき

人事消息

△飯田警務局長 二日夜南大門驛發北行
△赤星鐵馬氏（實業家） 二日夜[illegible]より入京
△松井茂次郎氏（元山稅關長） 三日朝入城[illegible]旅館へ

露西亞
何故混亂するか？（八）

■ツアーが無くては治まらない露西亞と、その宗教（４）

○露西亞の百姓は、多くアルテーリと云ふ組合を作つて、共同して農業に從事してゐる。地方によつて多少の相違はあるが、アルテーリと地主との關係は、大體三分の一と二の關係である。

○アルテーリの方では、馬と百姓の手製の農具とで耕作に從ふ。地主の方では土地と穀種と肥料を供給する事になつて居る。收穫となると、穀類でもキヤベヂでもジヤガイモでも、地主若くは番頭の居る前にその收穫物を同じ大きさの堆に積んで算へ、その三分の二を地主の倉に送り込み、三分の一をアルテーリの收入とするのである。

○このアルテーリの組織は、『ミール（＝村會）』で出來てゐるのである、ミールは村會と云つても、寄り合ひ相談と云ふ程のもので、村落居住の家主にて組織されてゐる、ミールは一人の『スタロスタ』を持つてゐる、これが村長でもあり、アルテーリの首長でもあるのである。

○野天でミールが開かれる『お前さん今度はスタロスタになつておくれなさい。』『どうして私なぞが貴殿こそ適り役ですよ』と云ふ樣な事で、結極衆人に指された、アレキセイ老人が眞鍮製の鎖のついた、銅のメダルのスタロスタの徽章をつけさせられる、それがアルテーリの指揮者となるのである。百姓等はこの首長の指揮に從つて仕事を遣れば無難で、不平、不滿もないのである。

○けれど彼等が單獨では、意氣地もなく間誤つくやら、怠けるやらで、何でも完全には出來ないのである、であるから三人の仕事をしても、一人はきつと指圖役でなければならないのである。何でも、『バーリン（旦那）』が[illegible]たから』で善きにまれ、惡しきにまれ服從し安心して遣つて居るのである。

○これ等も、大宗教的乃至原始的宗教的の國民情調が、彼等を支配して來た證左であつて、此處にも所謂自由思想の、西歐の近世的生活思想と相容れることの出來ない特殊な大多數の、露國民の性情が說明されるのである。

○かくて旦那がなくてはならない彼等は、その宗教的生活と結びついては、彼等の奉仕の對象として、宗教の王位最高の位置なる、ツアールを常に持たなくては治まりがつかないのである（あきら生）

◎光榮に浴せし 東京京城直通電線

延長一千二百哩、最長の直通回線

二日皇太子殿下が東京中央電信局に行啓あらせられし際同局に於ては小谷局長より特に

◆帝國領土内 に於ける最長の直通電信回線たる東京京城間電信線に關し御説明申し上げたる所殿下には御擱嫌麗はしく特に全線の譲孔紙を御手にせられたる由拜承したが實に吾々

◆斯業に從事 してゐる者は光榮至極に存ずる次第である抑も本線は二重自働で大正元年十二月一日から其の通信を開始したのであるが東京京城間の距離は約一千二百哩餘あり、其の架設費用は銅線の廉價なりし際で

◆約四十萬圓 を要してゐる若し現今ならば恐らく七十萬圓を超ゆるであらう又同線は内地朝鮮間に於ける最重要の電信線で一日約九百通の電報を取扱ひ一分間百八十字の假名を逆受する事が出來る尚ほ我帝國領土内に於ては

◆東京京城線 に次ぎ最も長距離な電信回線は大阪京城線九百三十五哩、東京鹿兒島線九百五十二哩、東京下の關線七百三十二哩、東京札幌線六百九十七哩、東京小樽線七百二十九哩、東京長崎二番線八百五十五哩等である、

◆中央電信局 に東宮殿下の行啓を忝くした事は今度で二回目のやうに記憶する、第一回は聖上陛下が東宮に在はしませし時逓信大臣林董伯の奏請で御成があつた(矢野逓信局通信課長談)

●戰線に送らるゝ苦力は 働き盛りの大男揃ひ

▽生れて初めて持た日用手廻品

この用青島から苦力が盛んに戰線へ送られてゐる此等の苦力は米大陸を横斷し大西洋を乘切つて佛國戰線へ送られ英軍の後方勤務に就くのだ相であるが流石は體格檢査を嚴重にし收容中に嚴しく訓練されたゞけあつて筋骨逞しい働き盛りの體軀を

◆鼠色の棉入服に 包み一絲亂れず輸送指揮官や苦力頭の命令に從つて埠頭に整列し順次船へ乘込むところは誠に立派なものであつた船内の模樣は如何と係員の許諾を得て船内に入れば船艙一面に軍隊の木製寢臺を縱横に積重ねた樣な棚が幾つとなく右にも左にも上にも下にも並んで居るところ一寸蠶棚の樣であるが棚は各層とも寢臺式に一人々々に區劃し布團を敷き

◆救命具を枕に利用 し傍へにカーキー色の帆布製背嚢を備へてある竹内前軍政長官が嘗て苦力輸送船を參觀した時態々この棚に寢て見て軍隊の輸送設備としても此れ迄であると稱賛したと云ふが却々整つたものである背嚢は全くアルプス地方から流行り出したと云ふ登山旅行用のルユックサック其儘で中には十餘種の日用手廻品が入つて居ると云ふ尚

◆其れよりも感心 させられたのは船内の一隅に積重ねてある救命具である此は幾つもの大きな瓢蝣板製圓筒を四角に並べ其の廻りへ麻縄の取手を澤山つけた木枠を嵌めたものでイザ潜水艇に撃沈されたとなると此れを海中へ投込み其の四方へ一列に方陣を作りてぶら下り救助船の來る迄浮んで居ると云ふのである一個の救命具の大きさは

◆殆んど二間四方 もあるから何十人でもぶら下れるであらう擬苦力は乘船前ばかりでなく乘込んでからも卷煙草や燒餅やら落花生やら駄菓子やら種々と買込むので埠頭には例の大道商人が幾人となく出て金儲けをして居る、これが愈々本國との長い別れであると妻子や親兄弟にも逢へないと思へば流石の

◆苦力も 一種の感慨に打たれずには居られまい、そこで種々な乞丐が現はれ哀聲をしぼつて憐れみを乞ふのを見て苦力は我も我もと腹掛の銀兜子から銅子兒を摘み出して投げ與へるので乞丐共は時ならぬ大金儲け十分とたゝぬ内に忽ち五六十枚の銅貨をせしめたが半日掛りで苦力全部が乘込む迄には一人で少くとも五六圓うまく行つたら十圓位の稼ぎになるだらうと見物の埠頭苦力が羨ましさうに囁いて居た(青島特信)

◎飼犬數戸を燒く

全北任實郡下新德面水川里農金德賛(五〇)方より十一月二十二日午後七時頃出火附近に延燒し住宅五戸を全燒し半燒一戸物置小屋三棟を燒失して鎭火せり原因を取調べしに金德賛方の飼犬が温突の焚口に潜り込みし際殘火が件の飼犬に燃え移りたるより苦しさの餘り中庭に堆積しある藁の上を轉輾したる爲め火は更に藁に燃え移りて遂に大事に及びたるものゝ如しと損害約七百五十餘圓罹災者は里民の手にて救助中なりと

◎殘忍なる少年の殺人

二日朝家人の留守中大阪天神橋筋四丁目古物商フジエ(二二)の手足を縛し頸を絞め咽喉を突き其の息を絶たしめるを床下に捲り込みし平野象次郎(一七)は即日捕縛されしがフジエに[illegible]しと果さゞりし腹癒せに右の如き殘忍なる犯行を演せし也と(大阪電)

◎征虎軍の凱旋

山本征虎隊の一行は二日午後八時鏡城丸にて元山に著せるが三日午前九時元山發列車にて歸京の途に就けり解散式は五日なり(元山特電)

◎女學校生徒猩紅熱に罹る

京城旭町一丁目七十六番地古城よしね(一七)は京城高等女學校三年生なるが十二月一日發病二日診斷の結果猩紅熱と決定即日順化院に入院せしめ自宅及び學校は三日大消毒を施し學校は同日全部休校し同じ組の生徒は向ふ一週間休業せしむ

◎殺人強盜逮捕

三十日香川縣三豐郡觀音寺町[illegible]石川[illegible]に[illegible]棍棒にて亂打せ[illegible]し[illegible]全身を縛り[illegible]見返[illegible]同[illegible]日夜[illegible]逮捕されたり(大阪電)

初冬スケッチ ――温突――

[illegible]

◎納僧の命取り 臘八の大接心 愈々始まつた

各禪林に於て十二月一日から八日の曉天まで行はるゝ臘八の大接心は大聖釋迦牟尼世尊が西曆紀元前五百三十一年の十二月八日の曉天燦爛たる

◆明星を 見て忽ち豁然大悟覺ねす「奇なる哉一切衆生如來の智慧徳相を具有す」と大叫した記念の接心で禪門に於ては曉天の一炷だけでも靜坐して大聖釋尊の

◆成道を 記念するので妙心寺別院に於ても蔭涼會員の大接心が行はれてゐる。さて現今各禪林に行はれて居る規矩の一端を御話して見やう如何に

◆模範的 にして其修行の峻烈なるかゞ窺はれるであらう、日本の禪宗は大別曹洞、臨濟、黄檗の三宗であるが、曹洞黄檗の二宗は姑く措き

◆臨濟宗 は彼の五百年間出の禪著と絶叫した大立物の白隱和尚が出てから、禪堂の規矩は勿論禪の内容にも

◆改革を 加へて純日本化したのである、今此の禪堂で行はる、年中行事を雨安居、雪安居の二期として、雨安居(夏期)に三つ雪安居(冬期)に四つ乃至

◆五つの 大接心を設けられて居る。其中で此の臘八の大接心は年中行事中の最大行事で、衲僧等は臘八と云ふ名を聞いた丈でも寒毛卓竪するを禁じ得ない。

◆此接心 では死んだもの氣の狂つたものが古來澤山にある位であるから、衲僧の命とり、と別名を附してある。愈々其前晩になると各自の氣分が緊張し切つて

◆殺氣が 充溢して來る、此の聖制に入る前に七日間の米磨ぎや、薪割り、汁の味切り、味噌擂り等をせねばならぬ。それは接心中にはなるべく手を

◆省いて 接心に專一ならしめんが爲である。接心中は面會外出等は勿論許されぬ、父母師兄の危篤の電報に接しても渡されない、半死の病人となつても寢ることを許されぬ。

◆法の爲 めには喪身失命を避けずとは此邊のことだ。故に此期間に起る不詳事件は名譽の戰傷若くは戰死の取扱を受くるのである。斯て一切の準備が整頓した

◆前晩に 老大師は師家から嚴格なる垂示が下だる。丁度官職の布告のやうなものだ。同時に各將軍の格にある直日、侍者等の監督役からは激勵的の演説がある。それより各自寢に就くのであるが

◆緊張し 切つた衲僧等は如何にしても寢られない。話は愈佳境に入るが戰鬪開始後の活劇が如何に展開するか、八十餘歳の名僧南天棒老師の修行談の如きは儒夫をして戯起せしむるものがある(つゞく)

八雲琴 (淪落の女の末路)(三)

田舎で通魔に育つた人程同情に深い。殊に女性でAと同じく孤兒となり人知れぬ悲しみを知れる彼いさ子は此悲慘なる話を耳にしてどうして心を動かさずに居られようぞいさ子はKの話すのを

▽涙で聞いて 居たが何か決心する所あるらしく其翌日伯父夫妻に此話をして救濟方を頼み入れた彼女の美しき同情の涙は[illegible]

▽其當時誰か いさ子の同情が一人の破滅を起す原因であつたと知らう……いさ子が淪落の女となつたのもAがあたら英才を有し乍ら一時轗軻不遇の人となつて江湖に放浪するに至つたのも實に

▽此同情が仇 となつたのであるAは博士邸に引取られて手厚い介抱を受けた其結果日増しに快方に向つたいさ子は實の兒にでも仕へる樣に心を籠めて眠る暇も無く看病した財も無く肉親もなきAの身としては唯

▽感謝の涙に 咽ぶのみであつた或る日いさ子はAの病床を見舞うてAの生い立ちからの話を聽し聞いたそして自分の孤兒なる事も打明けて今後お互に世に頼り少くない孤兒同志助け合つて行かうと約束した同情が變じて

▽戀となる事 は青春の男女間に多いものだAの氣高い容姿や男らしい態度や言語は當時十七歳のいさ子の胸の奥深く戀となつて秘められて居た聰いAの病氣も全快した博士はAの得難き青年なる事を看破して今後充分後援して遣るから心配なく邸に在つて通學せよと懇切なる言葉をかけられた普通の青年ならば

▽渡りに舟と 早速承知するだらうがAは他人の補助で成業するのを男子の恥辱と考へてたので一應は博士の言葉を謝絶もしたが博士がたつて安全の法を採る樣との言葉なので熟考の後改めて御返答申しますと云つて自分の室に歸つた桐の一葉に秋立ちて今宵ぞ初秋の星月夜Aは

▽今後の方針 を定むべく博士邸の泉水の邊りの芝生に腰を卸して瞑目沈思して居た生れて十年後の數奇な小説的の運命は今後どう展開するであらうか弱き者程其反面には強き者である樣にAの如く悲慘なる境遇に在る者に從し同情と熱烈な愛を捧げる婦人があるとしたら心腸鐵の如き男子でも涙に反を呼ばれるものではない

讀者文藝(一等に五十錢二等以下粗品)

「川柳」夜●

[illegible]

カレンダー ▲今年は何なのが流行る

カレンダーは多く商店から其の得意先へ年末年始の進物用として配布されるものであるから大概の家では買求める必要はないやうだけれども朝鮮人は行かぬ、内地人の[illegible]要者は殆ど九分九厘迄で商店から

▣二三百以上 纏めて買ふのであるが一枚賣の口も近頃斷增して來た、と云ふのは朝鮮人が買求める樣になつて、枚十錢以上二十錢位で市中の繪葉書屋では羽の生れた樣に賣れて行く、而して大正日の三百枚以上の口は千枚五圓以上二十圓位の相場である、そこで

●文士辛笑 年末贈答用逸品

▣近年は大分 ハイカツてカレンダーの流行廢りを見るに來て、從來の樣な鶴龜、猩々、瑞獅等の樣な抽象的の幼稚なものは流行らず、何つちかと云へばセツシヨン式な主として美術に重きを置いた高尚なものが喜ばれる樣である、猶ほ京城本町日出商會では此の傾向に鑑みて明年は朝鮮式のカレンダーを刊行するさうである。新年用の繪葉書も追

▣精巧なもの が出來て段々金屬版の其嗜好は舶來式に傾いて來る、目下賣行の好いのは御題と干支である、之は一枚一錢五厘より五錢迄である、年賀狀の字許りのものは鮮人が盛んに買つて使ふ樣になつたから同商會では鮮文の年始狀を發行するさうである

商況

債券現物特電

[illegible]

公債直取引

[illegible]

深川正米特電

[illegible]

東京期米特電

[illegible]

大阪株式特電

[illegible]

大阪三品特電

[illegible]

大阪期米特電

[illegible]

下關期米特電

[illegible]

雜報

●絹糸布下勢 [illegible]

●現物五六圓安 [illegible]

●綿布龍レ十一圓 [illegible]

●粗布二十日圓割 [illegible]

●買望み一段落 を告げた[illegible]の買鎭みと伴つて市況の一頓挫を來して今日にては[illegible]二百九十八圓[illegible]

●必需品 [illegible]

●正米眼先强し [illegible]

●移出口白米 [illegible]

各自既に滿腹の[illegible]多少相場を引締むる[illegible]

●外米と約定 [illegible]約三十萬噸と計算[illegible]

仁川米豆取引所 大五仲買店 居主 猪飼政太郎 電話[illegible]

●亞鉛締强硬 [illegible]

●織物類昂騰 [illegible]

●目下二十圓七八十錢唱へ [illegible]

●精白米チリ安 [illegible]

●卸值二十二圓二十錢 [illegible]

●小賣白米値下 [illegible]

●釜山穀物概況 [illegible]

下關相場

[illegible]

京城正米

[illegible]

南大門の廻穀

[illegible]

仁川正米

[illegible]

釜山穀物(二日)

[illegible]

●内地正米暴落 [illegible]

市場雜觀

▲兵庫十七錢 [illegible] ▲東京七十五錢 [illegible] ▲大阪八錢六十六 [illegible]

仁川期米

▲第一節兵庫二十三圓十八錢、大阪天候晴天[illegible]十五錢大下放れ入電三[illegible]東京二十三圓七十四錢兵庫二十三圓十八錢[illegible]

仁川米豆取引所仲買人 仲買店 電話[illegible]

仁川米豆取引所 三日の二月限

[illegible]

落穀を報じ各地一齊に暴[illegible]

仁川米豆取引所仲買人 仲買店 電話[illegible]

大阪期米

[illegible]し七錢と不勢の成行きを示して散會せり ▲後場當限二十四圓四十二錢[illegible]

仁川米豆取引所 三日の二月限

[illegible]

●連絡船上陸客 三日午前 釜山入港高麗丸 二三等客[illegible]

●暴風警報(十二月三日午前十時發) ▲警文 風強かるべし ▲低氣壓位置 日本海中部 ▲示度 七百五十[illegible]

□案内 廣告規程 ▲用紙は端書又は同形の用紙一枚毎に紙上の雅號又は職名の外に住所氏名明記の事[illegible]

天氣 晴れ時々曇り (十二月四日) 日出 七時三十一分 日入 五時十六分

仁川期米

三日後場 大阪後寄付小安き入電にて中十九圓九十二錢より四錢先十九圓七十二錢より六十九錢四節大阪止安入にて先六十六錢より七八錢を戻し
△先限一節十九圓七十二錢一錢七十錢六十九錢二節六十九錢七十錢七十錢三節七十錢四節六十六錢七錢六錢七錢八錢七錢

平均 一節 十九圓七十錢 二節 十九圓七十錢 三節 十九圓七十七錢 四節 十九圓六十七錢

……人一名
二等(三十名)江口綱子、岩瀨佐……山崎秋子、吉田五郎……原利吉、木村原美、田中清、岡崎俊、原田繁……田代直吉、山本立太郎、大倉彥、吉田數馬、末永光三、仁尾伊佐、木村萬作、西岡庄七、市川徒吉、長守金治、山島登、吉野蘇太、内村安太……之助、芳太郎……三等八十七名

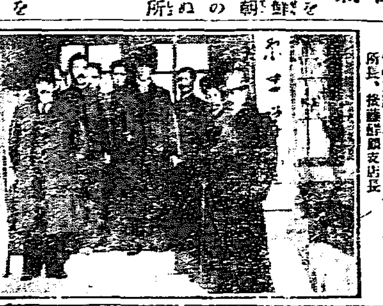
開原の公學堂

支那人生徒の日本語 斷り切れぬ程の大入氣

大豆を誇る開原驛で開原公學堂を參觀に行く、學校の名は豫て朝鮮から滿洲の學事視察に來たものは何れも開原公學堂を視て行かぬ者はない、自分も神保地方事務所主任に案内せられて

○○○○○ 此の公學堂は云ふまでもなく滿鐵經營の支那人子弟を教育する所 ○○○○○

開原は殊に神保主任努力のあとを視る、誘はれたのは學校の講堂、全校百七十八名の生徒を集めて發音の練習が試みられた、總じて支那人の生徒は『カキクケコ』の發音がむづかしく『キミが代は……』が『チミが代は……』になり易いといふことだつたが此の學校のは何れも非常に成績がよいといふ、殊に四學年生の男生徒が教壇に起つて『千山の話』を試みたのは實に美事な發音であつた、これでは朝鮮の人のみが日本語に達者といふ譯には行かねと思つた、生徒はみな



當公學堂職員と記者(右より二人目は神保地方事務所長、後藤鮮銀支店長)

木綿の支那服を着けて居る

○○○○○ 鮮人の男女に似たり……上衣も汚れ目が見えない ○○○○○

それに男の辮髪者は一學年から四學年を通じて八名しかなく他はみな散髪者ばかりであつた、モ一つ面白い現象は男生徒百四十名の内妻帶者が廿八名あることで生徒の平均年齢十三才に對してわれ〳〵日本人には聊か可笑しく思はれるがこれは朝鮮の普通學校なども同樣である、其の他生徒の成績品も相當見事なもので葛梁細工だの綿だの手工の巧みなものも尠くない殊に女子の刺繍などは朝鮮の女生徒と同じく却々巧者になつた、此の學校は最初は開原分教場の一部に教場として創設し後ち大正三年の四月一日から鹿子生儀三郎氏が堂長として就任したものである、

○○○○○ 鹿子生氏に就て 京城水下洞の鮮人普通學校に在り多年朝鮮人教育に ○○○○○

名ある人であつたが來して開原公學堂に於ても立派な成績を收め今春奉天の南滿中學堂の教諭に轉じたのであつた、現下の校長は廣島縣師範出身の杉本梅之助氏この他五人の日本人教員と二人の支那人助教が教鞭をとつて居る、殊に清水氏といふ外國語學校出身の人から西村かずを氏の如き東京女子大學出身の先生達もあつて相應に立派な人々が熱心に努力して居られる、學校の創設當時はなか〳〵支那人も寄り付かず先生達も困られた相だが、今では入學希望者をお斷りするに苦しむといふ始末、卒業生は何れも相當の職に就職するさうだ、學校などにも日本の祭日、支那の祭日共に休むのが別に昨年から孔子祭を催してゐるといふ(奉天支局生)

鮮銀の補助貨

三萬圓あらば歳末は充分

補助貨拂底の聲は到る處其跡を絶たず各地共に小賣商人は釣錢に窮しつゝありしが半ば發行中止の如き窮境にありしが平壤朝鮮銀行支店にては其管轄なる平安南北黃海の三道へ撒布の爲め帝國政府發行小額紙幣と引換取合せ七千圓鮮銀發行小額紙幣四千圓補助貨十錢銀貨二千圓計一萬三千圓を三十日午前迄に著せしより午後交換を開始せるが瞬く間に五千圓の交換を了せるが今後三萬圓の交換を見るに及んでは歳末の取引に何等の支障を來さゞる見込にて近く其餘の二萬圓も三回に分ち本月二十日頃迄には到着すべき見込なり

九龍浦の賑ひ

漁村一流の大騷ぎ

慶北九龍浦は目下鯖漁の期節に在るを以て市況非常なる好景氣にて市民の全部殆ど不眠不休の狀況なり特に魚の搬出に從事し居れるを以て出荷の調製に夜間を以て消防提灯の如き商張を燈し徹夜の有樣なり漁期は約三ケ月間にして其の間には浦項慶州地方其他より酒食店も入込み目下十二軒の料理屋が全部新に開業し殊に奇觀を呈せるは其料理店の全部が悉く直經四尺餘の大鼓を天井より釣るし之れに小太鼓を合せて漁村一流の調子を以て夜徹し打ち鳴らし之に金切聲の女の唄が交りて恰も法華宗の題目を唱ふる如き狀態が何とも例へ樣なき騷々しさにて到底眠られざる處の騷ぎに非ざるも右は何れも鯖漁期間に限られ漁期の終ると共に流石の大鼓の音も聞へず元の寂寞に歸り百餘名の女等も何時の間にやら姿を消し波の音のみ高き漁村に化する由なるが漁期に於て十二軒の料亭に落ちる金額は實に莫大なる由なり

大連より

○正金銀行大連支店から東拓大連支店が受繼いだ特貨金額は約二百萬圓で東拓支店で目下それ〳〵整理中であるが同支店で十月開設以來新に貸出した特貨金は約七萬圓であるが年内に十萬圓を越ゆる見當であるさうだ

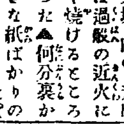
○大連も經濟的に急速の發展を爲したが其の裏面には随分高利の資金を借りて土地を買入れたり建築をしたりして苦しみ抜いて居る者が甚だ尠からぬ模樣である

○處へ東拓支店が最長期限三十年で低利の資金を貸出す事になつたから夫れ等の人に取つては殆ど救け船の到來と同一である

○東拓は其の消化力に由つて何程でも貸出を行ふが關東州内に約三百萬圓の農業資金を大連市に約七百萬圓合計一千萬圓の特貨金を投下したら大概經濟上の基礎が確立するであらうとは支店の豫算である、更に大連が大工業地として發展を遂げるとなれば資金の消化力はそれに伴なつてどれ程まで膨脹するか判らない

○州内の農業資金は遼東銀行の手を經て貸出す事になつて居るが猶漸次土地、移民、牧畜等の經營も勿論開始するさうだ

○安東支店長は會社創立當時より永く土地課長として敏腕家の聞ゑの高かつた人だけに土地經營には他の事業よりも多くの興味を持つて居るといふ事だ何分不動產擔保の貸出しだから傍で見て居ると一寸小穢に隣る程仕事が捗々しくないとの事(長城生)



▲奉天城内の光明洋行は過般の近火に危ふく燒けるところであつた▲何分裏から火が廻つては大きな紙ばかりの事とて何うすることも能きぬから店員は寒くないやう蒲團を持つて逃げ出せとは御主人の命令だつた相な▲序に奉天だけに一箇年輸入する紙は百二三十萬圓にのぼる▲種類は主にザラの新聞紙でその他ロール紙では四十七磅位のが多いと▲滿蒙公所の今の建物は元の露清銀行の跡で日露戰爭の時は一時總司令部の宿舍になつたこともある相な▲その當時を追懷して支那人が云ふには露人は商人と云つては奉天に唯の四人で他は皆軍人であつたに▲それで露人の金を落して往つたものは有難いが日本はこれに反すと云ふのだ相な▲そこで光明洋行主人の仰るには莫迦なことを云ふのでない▲豆粕が一個十錢内外から今の一圓五六十錢の値になつたのも誰れのお蔭か、地價の騰つたのも誰れのお蔭か、よく考へて見るが好い……との御説教だ相な(大苹)

滿洲財界

堅實に發達

目下一般經濟界は最も不安を感じ支那時局、露國政變の切迫、歐洲戰の前途等何れも皆經濟界に大變動を與ふ可きを以て財界前途を預測する能はざるが過般一度大動搖を來たせる内地經濟界が最近再び回復し株式、綿絲布等の人氣を初め市況は漸を逐うて好勢に向ひつゝあるは此れ内地財界實勢力の充實せる證左にして例令へば綿絲布業界の原因の如き一時の變調によりて斷落を告げたるに過ぎずして諸外國關係の強材料判明し來るや忽ち人氣を回復するに到れり滿洲一般財界は過般右の影響により一度頓挫を來たしたりしも多年扶殖せられたる滿洲財界は一朝にして再び實力を回復し最近内地財界好勢なるに伴ひ益々堅實に發達しつゝあり此趨勢により一度悲觀されたる特產物輸出、重要品輸入商の如き今や何れも皆活氣を呈し猶年末資金の需要期切迫と與に金融界も繁忙を來たすに到れるが一般經濟界は著しき發達を示し各方面とも極めて有望なりと

新採鑛規定

滿洲鑛山開發に無影響

去る廿日奉天財政廳より發表されたる採鑛出願資本規定は鑛山開掘資金に一定の資格を設けたる者なるを以て滿蒙鑛山開發に大なる影響を與ふ可きを憂ふる者あるが此に對し某當局者の見解に據れば該規定は寧ろ△當然の規定を設けたるに過ぎず歐戰勃發以來時局の影響によりて鑛山開發熱高まり昨今滿蒙鑛山に浮かされて利權獲得を企圖する者日支間に增加の傾向あるは鑛業の開發に著目する者漸しく增加し自然此前途有望なる所謂鑛山熱に等の取締を嚴にするは妥當なる可し元來鑛業は資金本位の事業にて財界膨脹の結果事業資金は著しき增大を來たせる現今に於て苟も鑛業に著手するには相當の準備を要す可きは明かなり小鑛業者が徒に利權獲得を企圖し滿蒙原野の採見に從ひたりとて鑛業發達上何の効果を奏する者に非らず△在滿蒙鑛山開發は今や鑛山利源の實在と資金供給の時代に入れり而して彼の久原精煉所設立の如きは勿論鑛石を買收して專ら精煉に從事し鑛業界の發達に貸せんとする者なる可きも右の如く小資本家が鑛業を經營せんとするは不可能なる事なれば該規定發布は滿蒙鑛山開發上何等の影響を來たさゞるべし

鴨江造船會社

創立事務進捗營業開始來月上旬か

奉天藤田九一郎氏等によりて主唱されたる鴨綠江造船會社は其の後創立事務著々進捗し株主の如きも別に公募する要なく全部奉天大連安東新義州の發企人贊成者及び該事業關係者によりて持つ事となりたれば來月上旬を以て第一回拂込を終ると共に直ちに營業を開始すべき段取りとなり居れり其の資本金は四十萬圓とし第一回拂込四分の一十萬圓の豫定なり然れども同會社は未だ創立事業中なりと雖も諸般の事業著々進捗し既に個人名義を以て中ノ島に於て事業に著手し居れるが是等は會社創立と共に當然會社へ引き渡すべき豫定なり又鴨綠江材は或る船材としては如何やとの疑念を懷くものなきにしもあらざれども一級船建造には或は不充分の點ありやも計られざれど二級船用材として殆んど間然する處なければ其の一級船材としての用法に就いては尙ほ研究の餘地十分なりと

正金出張閉鎖

今回勅令を以て滿洲に於ける金券及び金庫事務全く朝鮮銀行に引繼ぐ事となりたる結果從來安東驛前に開店したる正金出張所は金庫事務を取扱ひ居れるが愈々來る十二月末日を以て引揚ぐる事に決定せる旨通知ありたり

四鄭全通祝賀

十二月十日頃擧行

四鄭線は滿鐵本線四平街より已に鄭家屯附近まで竣工したれば全通の上は十二月十日前後大祝賀會開催の筈にて來賓は日支總計六百名に達す可し目下之れが準備中なるが當日は斡旋の爲め鐵嶺、四平街、公主嶺、長春等よりも數百名の紅襷隊應援に向ふ筈なりと

秦川水利工事

過般來秦川郡新庄里東拓水利工事々務所に出張中なりし吉上東拓平壤出張所長の談に依れば東拓にては秦川郡南面西面三千町歩に渉りて滿川江の水流を引用し水田を設く可く五十萬圓の經費を投じ昨年著手既に基礎工事を了へ目下各水田に引用す可き溝渠の掘開工事を急ぎつゝあり而して同面收穫す可き籾の豫定石數は一萬石にして本年既設面より四千石の收穫を見たるが明年には倍額以上の收穫見込なり然るに最初東拓の私腹を肥すものとなし極力反對したる鮮人は東拓の眞意を曲解せるものなるが昨今に至り漸く公益のものなるを認め來り東拓の眞意を諒得し何等問題の勃發せざるは勿論自ら進んで諸般の相談に來るに至れるは自分等の喜び居れる處なりと謂ふ灌漑水路の拓けたると共に地價も著しく騰貴し一反歩十圓前後なりし土地は六十圓位に暴騰し猶且買手あるも賣手なき現況にありて東拓にありては同地に籾の改良種を普及しつゝあるが更に明年度より在來の籾播なりしを改良し共同苗代を設置の計畫中なり

製煉所工事

進捗

兼て沙河鎭驛附近に工事中なりし大倉組精煉所は其の後工事も大に進捗し既に家屋の建築は全部完了したるを以て愈々事業の開始を見る又遠からざるべく多分大倉男一行視察歸東の後なるべしと

遠慮なく行け

柏谷岩崎兩代議士の吉林談

蒙古視察中なりし柏谷岩崎兩代議士は奉天に武藤氏と分れて吉林方面を視察したるが其の談に曰く▲吉林は平穩無事也▲吉林では督軍に面會した處が例によつて支那人は外交辭令に巧な處から何うかは知らないが頻に泊つて行つて下さいと勸められたものだから日歸りの積りで出掛けたのがつい一泊する事になつて泊つて見たが至つて平穩無事、其れまでは獨立を宣言したとか張督軍が兵を進めたとか云ふのでビク〳〵ものであつたが聞くと見るとは大違ひで矢張り是れも支那式だ哩と思つた▲鮮銀と燐寸會社▲吉林では目下製燐會社も創立方進捗中だとは聞いたが燐寸會社の方は既に盛んにやつてる模樣であつた、又鮮銀は開店後日も淺い相だが次第に仕事が增ゑて來て開店當時は殆んど閑散であつたのが今日では利益を擧げ得ると云ふ所までは行かないが仕事は多くなつたと主任の方が云はれて居たが、マ、兎に角何事によらず考へるよりはドシ〳〵と始めるだね遠慮なく與へ與へと這入るに限るね(安東生)

演藝案内

浪花館 明治町二丁目 電話六〇番
鏡仙今一行 十二月三日 △一番目 須磨の仇浪 一、追加 最新作にして脚本新しく到着に付き上場す 浪花節 大切 舊噺 義理と情 全二場

大正館 本町 電話八七三番
日本活動寫眞株式會社特約 十二月一日より新寫眞提供 ○新派活劇『結婚の夜』全四卷 ○『明星』全二卷 ○『快青年』全四卷 ○『血の池地獄』全四卷 ○『ジヨンデー』氏大好評に付…

有樂館 黃金町 常設館 電話五七〇番
○舊派實説 徳川天一坊(全四卷) ○第三『獸魂』(四卷上場)…

黃金館 電話二二六六番
○新派實劇『先代萩』(全六卷) ○泰西探偵活劇『怪鐵』(全三卷) ○新派家庭劇『黃金白菊』(全三卷)

壽館 本町 電話一〇五〇番
十二月三日午後六時より(三日目) 博多俄 松葉屋組一座 世界の大相撲 餘興文人手品 番頭の忠義 一、二、三場

歳末の經濟

安全第一の實用織物

御仕著せ用の反物は實用が第一で貰つた人に値段以上に見られキツト喜ばれる物でなければなりません、當店はドント値段を落し賣りドント評判を上る擴張時代皆樣にとつて今程御買入れに絶好の機會は無し

▼見よ!!急告 十二月の久保濱
十二月一日を引續き毎日新品差加

特價均一提供

目くら目つぼうに御取りになつても平素正札より二三割安いと云ふ事を御記憶下さい

五十錢均一	縮緬半衿三點一組
五十錢均一	物風呂敷美術折紙入
一圓三十錢均一	實用双子反物
一圓五十錢均一	染大島反物
一圓八十錢均一	新銘仙反物
二圓均一	小紋縮緬反物
二圓五十錢均一	新高貴縞吉野絹
三圓均一	新銘仙反物
三圓三十錢均一	東京銘仙
四圓均一	吉野名仙特製五布綿
五圓均一	大正名仙小紋
六圓均一	本場綿名仙
仕立コート	
五圓五十錢均一	甲斐絹裏附

實用よせぎれ友仙縮緬羽二重甲斐絹紬友仙白絹モミ高貴縞八圓より五圓より
地方の御方樣は通信販賣部宛にて御注文下さい親切に責任を持つて迅速に代金引換便で御送り申上升

東京九段 久保濱吳服店 電話番町九二三番 振替東京八四四九番

◎裁縫生徒募集
裏千家茶道、池坊生花教授專修、寄宿隨意(年令學力不問)
京城旭町壹丁目七一 元精華女學院々主 菊村良子

漆器 指物
本年は在品豐富精良品出精販賣可仕候間多少共御用命願上候
㊄丸五漆器店
京城出張所 京城本町二丁目 電話一七四番 振替三五九番

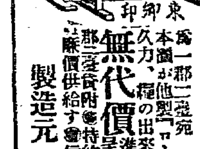
緊急廣告
歳末に際し例により注文非常に輻輳十五日以後に至れば自然仕上期日遲延可致哉も難計此段御急ぎの向は此の際至急御下命被仰付被下度此段謹告仕候也
京城太平通一丁目 京城日報社寫眞製版部

朝鮮總督府制服
(判任官用)
特ノ一(サージドスキン) 金四拾五圓也
特ノ二(ドスキン) 金四拾貳圓也
甲(メルトン黒紺)(一本綾) 金參拾參圓也
乙(メルトン黒紺) 金貳拾八圓也
奏任官制服及外套は貳拾圓より四拾圓迄
特校マント』は貳拾圓より四拾圓迄の事
地方は御申越次第見本帖と寸法取圖解送付可申上候
送料鮮内二十錢外五十錢
京城太平通一丁目 京城日報代理部 振替京城三〇〇番

耐火煉瓦
▲ 蠟石煉瓦(三十番より三十四番)
▲ シヤモツト煉瓦(三十番より三十四番)
▲ ダイナス煉瓦 ▲ヤケネシヤ煉瓦
▲ 耐火モルター其他 耐火物各種
平壤府橋口町(電話室貳五番)
合資會社 京谷商店

治療時間延長廣告
哲理治療は唯頭に手を置き精神統一を爲すばかりにて諸種の難病を癒す治療法である故にどんな所の病氣でも少しもはづかしき思をするには及ばぬ
子宮病と痔疾は切開手術の外並なしとせし頑疾に驚ぐ程で癒らぬ難病者は試よ
生命原理應用 哲理治療
患者日に增し增加に付諸彦の便宜を圖り治療時間を毎日午前八時より午後九時迄に延長す
京城南大門通一丁目渡邊旅館內 健全哲學館大學朝鮮分館長 江藤旭洲

京城永樂町二丁目(商品陳列館裏門通)
酒井婦人病院
院長 酒井一郎
電話一八番 二六〇〇番

カバー一階 最新式

東郷印
業務擴張他機と成績比較の爲一郡一臺宛本器が他製『カール卷取式』に比較して久力、操の出來高、運轉の工合等劣れる時は無代價進呈 ●製莚器製莚機
郡一臺貸附●特約店(店舖見本備付)一臺進呈他店の際價供給す●信用ある方は廿五日迄長期貸附す
貸附
特典要附 貸附說明書送呈 說明申込次第
製造元 大阪築港五條通二 藤田商店

謹告
十一月中當店賣買出來高
七拾貳萬四千壹百石(第一位)
本年下半期累計額
五百四拾七萬貳千一百石(第一等)
大阪堂島米穀取引所仲買人
㊅曾我一郎商店
電話長北一四八番 二五〇番 一四九番 二五一番 自宅電話西の宮八六番 振替口座大阪一二四七番

內科小兒科 外科
外科一般 婦人病 花柳病
京城黃金町二丁目(長橋通角)
朝鮮病院 診療(入院隨意)
(電話二八三七番)

左甚五郎

第百二席

桃川如燕口演
浪上義三郎速記

九助は桐生を立出ましたが故郷へ飾る錦一刻も早く歸國して此の金で質入れ爲した田地を受戻し、父の家を立やうと思ふ處から道を急ぎ幾日も幾日を重ねて道つて參りましたのは、信州の追分の手前沓掛、茲で晝食をして此處を立つたが、何を云ふにも初めての道でございます故、左を右と間違へたか、行けども〳〵山又山、郷々追分の宿へは出ません、道を聞にも人は來ず、其内に日はパッタリと暮れてしまふ、さア九助は氣が氣ではございません 九『是はとんだことをして、道を間違へたのだ、沓掛から追分までは三里半と聞いたが、もう五六里も歩いたと思ふに未だ追分へは來ない、勝手の知れぬ處で日は暮れてしまいこんな困つたことは無い、斯うと知たら沓掛へ泊れば宜かつた、然しこんな處に立ても居られない百姓家でもあつたら頼んで泊めて貰ほふ』と山道を爪先上りに登つて來る、スルと右手の林の中で木を切る樣な音九助は立止つて透して見ると、男が焚木を切つて居る 九『若し〳〵其處にお在なさるお方、少々物をお聞き申しとうございますと』聲を掛けると、何んだなと云つて其處へ出て來た一人、眼の光つた色の黒い、脊の高い恐ろしい人物、熊の皮の胴服を著て斧を提げて居る○『何んだねお前さんは 九『私は道中の者でございますが、沓掛で晝食をして追分へ行く途中何處を何う間違へたものかこんな處へ來てしまひましたが追分へ行きますには何う行つて宜うございませう○『そいつはまるで方角が違つてしまつた、是れから追分まで行くには七八里もある 九『それは大變なことをしました、此の邊に宿屋はありますまいか○『追分へ行かなければ宿屋などは無い 九『何處か此の邊で泊めてくれる家はありますまいか○『まア待ちねえ』と彼の男は其處へ出て來て九助の樣子をヂロ〳〵見て居りましたが○『それは困りなさるだらう、是から此の道を眞直に四五丁行くと一軒の家がある、その家へ行つて宿を頼みなさい、今此の先で斯ういふ人が教へてくれましたと云へば泊めてくれる 九『ア然うでございますか、それでは然ういふことにいたしませう、大きに有難うございます』と九助は禮を述べて其の儘四五丁參つて右手を見ると一軒の家がありました 九『成程家があつたが此處かしらん』と家の前へ來て中を覗いて見ると、年齒廿七八にもならうかといふ女が、居爐裡に焚火をして何か煮て居るか、頻りに麁朶を焚て居りまする。九助は表の戸をトン〳〵と叩き 九『ハイ鳥渡お頼み申します 女『ハイ何誰でございます 九『俺は旅の者でございますが沓掛から追分へ參る途中、道を違へてこんな處へ參りましたが、日は暮れて難儀をいたしますが何か一夜の宿を御無心をいたしたいものでございます 女『夫はまア御困りでございませう、只今開けますから』と女は其處へ立つて表の戸を開いて 女『嘸ぞ山中をお歩きなされて寒かつたでございませう、此の火で暖つてお在なさいまし 九『有難うございますが助けると思召して何うか今晩は泊めて頂きたいものでございます 女『お氣の毒でございますが、主人は不在お宿をいたす譯にはなりません 九『イヤ御主人お不在で宿がならんといふのは御尤もでございますが、今此の先で道を聞きました、其のお方の云ふには俺が云つたと云へば泊めてくれるから然う云へと云はれました 女『然て其の人といふのは 九『熊の皮を著て居た人でございます』是を聞いて女は驚きました、扨も此者は何者でございませう、女は善人か男か惡人か、九助に災ひが掛りますか、それは次席に申上げます。

毛皮なめし並に仕立
鳥獸剝製調進 羽根布團製造修理
毛類高價買入 羽毛皮 剝製標本
京城本町二丁目 貿易商 樽元商行

質 本多質店
京城太平通二丁目
嚴密精々高價御預

高麗人蔘エキスは
高價の純良を以て多大の信用と實評を博しつゝある
京城府明治町一丁目 小笠原大藥房

十二月五日 九星
舊十月廿一日
▲九紫○ [illegible] ▲一白○ [illegible] ▲二黒○ [illegible] ▲三碧○ [illegible] ▲四緑○ [illegible] ▲五黄○ [illegible] ▲六白○ [illegible] ▲七赤○ [illegible] ▲八白○ [illegible]

▲書籍御案内▼
世界の變局 德富猪一郎 價二圓五〇 郵一八
御前講談 松林伯知 價一圓七〇 郵一五
理想の家庭 桃川如燕 價一圓五〇 郵〇八
女義士傳 民友社編 價一圓五〇 郵〇八
義士傳 早川貞水 六冊各價〇四五 郵各〇六
外交奇譚 德富蘆花 定價二圓〇〇 郵〇四
自然と人生 同 定價〇三〇 郵〇四
青山白雲 同 定價〇五〇 郵〇四
牛 岡本米藏 價一圓〇〇 郵税
商工界の七十日 同 價五〇〇 郵税
修學行商日記 大阪 價一圓三〇 郵税
紐育市内外の地所 同 價九〇 郵税
京城日報代理部(振替京城二〇〇)

無代進呈券
肺病に如何に卓効が有るか僅五日分試みて下さい直ぐ分ります是非助けたい考から此券切抜き郵券八錢送れば只で上げます
長崎市外 極樂寺施藥部

りん病
と消渇を自宅で秘密に
同病に困る方只一劑を試みよ切手三錢送れ
家傳秘法の妙藥あり
名古屋市南かじや町 武藤亀吉

月經流經
滯經新藥レスノリン
閉止四五ケ月以内に於て本品用には [illegible]
常盤藥院

中風病
[illegible]

煙草がいらなくなる
セブン時間内に
[illegible]

無代進呈
同會は國民に [illegible] 法を明示す。

關西デ一番ヨク適揃シテ一番品揃ノヨイ
化粧品石鹸 問屋ハコ、伊勢勘号
大阪東區南久寶寺町三丁目
電話南長二八四一、振替大阪二五六番

贊化病院
京城明治町一丁目 電話二四番
內科 小兒科 入院隨意
毎日五名を限り 無料施療す
醫學博士 古城憲治
岡山醫學士 上野亮藏

營業品目
肥料部
蒸製骨粉、乾血、蹄角粉、星印配合肥料、細工用地骨、細工用蹄角各種膠及膠原料
石鹼部
化粧用石鹼、工業用、家庭用石鹼、浮石鹼、粉末石鹼、牛脂、椰子油、鯨油、其他油脂類、苛性曹達、洗曹達
京城東大門外新設町 朝鮮肥料製造所 電話二六三五番
京城阿峴町一四番地 朝日石鹼製造所 電話二九五二四番 電話二七六三番 振替口座京城二〇〇四番

外科 内科 小兒科 皮膚科 花柳病
診察夜九時迄 入院隨意
京城旭町一丁目(本町通り左に入る)
院長 正六位勳四等功五級 島崎龍一
島崎病院 電話二七三六番

昔 今
効能で賣れる
便通をよくし、上を引下げ、黴毒其他諸毒を除す
大日本大阪高津
七ふくひまつまり
本家七ふくや伊藤長兵衛

京城旭町一丁目
內科小兒科 入院隨意(普通病室並に特別病室)
醫學士 小林千壽
小林醫院 電話六九二番

比較は最良の撰擇法なり!!
サクラ正宗 サクラ正宗 サクラ正宗
京城明治町二丁目
山邑京城支店
電話一八四四九五番 振替京城五七番

資本金壹百萬圓
京城 株式會社 漢湖農工銀行
不動産抵當ニテ長期低利ノ貸出致候
支店(開城、春川、大田、江景、公州)
所在地(淸州、忠州、論山、鐵原、鳥致院)
普通銀行業務は親切に御取扱申候

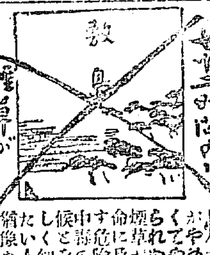
京城本町二丁目(警務前) 電話二一六番
內外科 小兒科 花柳病
院長 診察自午前九時至午後九時 正六位勳四等功五級 高井貞治
副院長 千葉醫學士 松崎正彦
日曜祭日正午迄
高井醫院

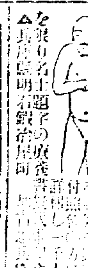
男のひみつ病
內外國醫科大學御採納、東京順天堂病院始め博士學士の證明と全快者の謝狀彩しく全國發明品中唯一優等當選せる専賣特許ハガキ式に申込めば [illegible]
東京新療法研究所 大阪新療法研究所 北海新療法研究所

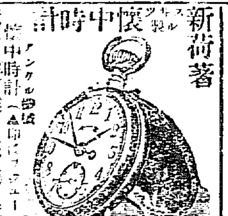
範模 牛乳
東亞牧場 京城蓬萊町四丁目 電話二五番

ニウソ 洗粉 石鹼
肥塚正太

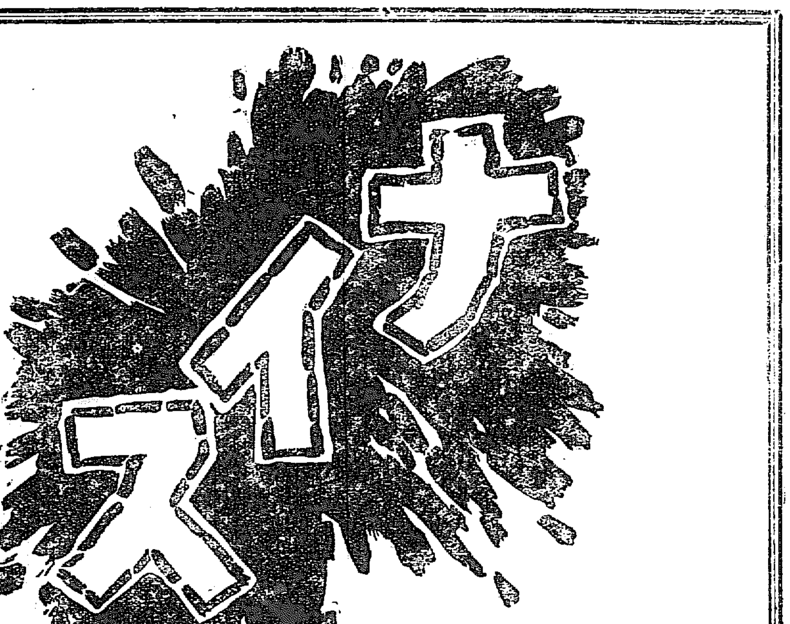
新荷著
懷中時計
[illegible]
京城本町二丁目電話九七二番
イングレツソレー商會



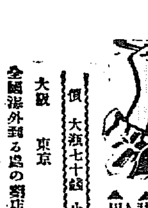




最新刊
朝鮮總督府屬 普成法律商業學校講師 西村眞太郎著
日鮮會話精通
袖珍型クロース美本 七百餘頁 定價金壹圓參拾錢
一、本書は高等程度の會話書にして現今行はるゝ會話中に發見する能はざる必須語を多數に掲載せり
一、本書は凡そ社會全般の事物を網羅し盡して收めたれば之を一つの國鮮語辭書として見る事を得べし
一、本書は内鮮人を問はず通譯事務に從事する人の最新最好の參考書なり
一、本書は各學校の會話教材に最適當の事項を集めたり本書は各種講習會の良參考書たり
一、本書は内鮮俚諺數百は皆新しき譯法を用ゐあれば一讀直に其の眞意を知りて實地に應用する事を得べし
一、一般に鮮語を解し得たりとするも其の智識のみにては甚だ覺束なきものならずや本書は貴重なる新譯語を以つて充滿せり
一、茲に朝鮮語を今一層確實に研究せむとする人士あらば速に本書を購求して座右に備へられよ、朝鮮語の蘊奥は本書に依りてのみ極むる事を得む
發行所 京城大平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部
特約店 京城本町二丁目 振替京城二四五四番 大阪屋號 京城本町一丁目 振替京城二五七三番 巖松堂



ボタリと落す
ナイスの一滴!!
シラガ、赤毛も
見る〳〵裡に
自然の
髮の色艶に
黑々染まる
ナイスの力



登錄商標
五大特長
▲タッタ二十分で染る。
▲洗ふて剝ず永く保ち。
▲自然の黑髮色に染り。
▲襟、枕杯に汚染せず。
▲用法簡易便利なり。
價 大瓶七十錢 小瓶四十錢 男子用三十錢
大阪 東京 丹平商會發賣
全國津々浦々到る處の藥店化粧品店に取次す

京釜線(南行) 京釜線(北行) 京義線(南行) 京義線(北行) 京仁線(仁川行) 京仁線(京城行) 京元線(北行) 京元線(南行) 發着時刻 [illegible]

京城日報　第五版　四日朝刊（朝夕刊併せて八頁）

支那漫遊

蘇峰生

瀬川總領事

予は瀬川總領事と、念上、宿縁ある…ならざるを確めたり。明治三十…年六月、桑港に於て相見、明治三十九年六月、營口にて相見、今亦た漢口に於て相見る。而して…見る毎に、予等の爲に、…宜を提供せられたるは、…る可らざる所也。今回の…に然りを爲す。

予等は一切の行李を汽船に…み、旅店の勘定を濟まし、…夫婦の晩餐の饗應に預り、…舘より直ちに乘船せり。

晩餐の同席には、伏見、…艦長あり、前者上海より…著上海に去るを以て也。瀬川君の如きは、支那語に精通し、支那の習俗に練熟し、且つ支那人を…し、支那人に對して…の誠慇、懇到なる、…も、君を欺くに忍びざらな。…は政府が、其の適材を適所に用ひたるを嘉みし、總て支那に於ける官憲をして、此の好例に傚はしめんことを望む。

九江より南昌

大正六年十一月四日午前…於江西省南昌…

江西省の首府、南昌の支那客棧…園の室中より啓上。

扨も十一月四日、起て船窓を…れば、汽船は已に武穴に近きつゝあり。天色曇晴相ひ半ばし、兩岸の秋色…的と云ふ能はざるも、…は甲板上の籐椅子に坐して擲…し。舊遊の白與、岸柳の上を驟…し時に比すれば、江の幅員…じたるに似たるも。何時ながらの滔々たる長江、只だ此れのみにても、詩興を挑發するには、十二…也。况や滿船漸く江樹を染め、…氣江村に滿つるに於てをや。

午前九時、朝餐未だ了らざるに、…九江に落す。九江は白樂天の琵琶行を以て名ある、潯陽江に枕し、明太祖が陳友諒と激戰して、大…の帝業を開きたる鄱陽湖を控へ、…に長江中の一大要港たり。…商埠を始め、…日清汽船出張所長、…銀行支店支配人、…

朝鮮古墳の變遷（三）

八木奘三郎

（二）古墳の外形

古墳の外形は世界共通の風と各特異の分とある、例せば圓形の如きは世界古今共に變化なく、又日本の瓢形古墳は米國の外に類例なく、其朝鮮に存する分は寧ろ日本を模せしやの觀あり、假令其事…

…次は二子形の墳形にして、日本の…形に似たれども、實は夫婦塚を…近して作りし爲め、偶然二子形となせり。…より慶州邑外又は金尺洞の塚は初めより瓢形に造りしこと明かなれば、…單に前條の解釋を以て足れりとすれば此分は時代を後世に引下げざる可からず、故に起源を前者に採れ…

どうして（三）

布施生譯

閑柄は此時初めて何といふ理由もなく此事件に興味が湧いてきた。此女の話は何だか結果を考へる物を含つてゐるやうで自然興味に物の挾つた趣がある、それに…が又怪しい、何れにせよ閑柄はこれから一つ此婦人に目をつけて見やうと思定めた。

…ざいますがどうか」私がお届に參りましたのは旦那樣へ御願ひたいのでございます。…のお耳に入れなくては…でございますから、…旦那樣は五月…

『…朝貴女が…』『…いや實に其娘さんの名は何んと申すのです』『…はあ、其美子さんと申します』『…何と言はれました』『…別段何とも仰有いませんでした、旦那樣はお膳に向ひながら新聞を見て被在いましたが一寸私の顔を見て少し…

それで婦人の顔を眺と見ながら「隱で其お前にはさうして貴女がお出になつたのですか、御主人は御承知がないのですか」…

…府をお認めなさいました、それから召使の事は已に言はなくてもお…ないやうにするがいゝとお叱りなさいました『それで貴女は…

○北方團結と援護

○湖南宣戰布告

○廣東又動搖せんとす

…何者か爆彈を投せるものあり…の間に衝突を起し…

○英軍敵塹壕撃退

○鐵道員增給要求

○米國戒嚴令を布く

…戒嚴狀態にあり…戒嚴令布かれたり

▲借款條件　金額英貨五十四萬磅にして軍事以外の歐米通商上の通信に使用する外汽船間にも運給せしめんとするものにして期限…未だ明確ならざるも大體左の如し…するの規約なり

▲成約困難　右借款は去る十九日（一説には二十日）にラルセン氏と海軍總長劉冠雄氏との間に調印せられたるものにして未だ正…に於ては軍事上關係ある借款の全權を外國人に委託するは不可なりとなし極力反對し此借款を取消さしむべく運動し居れりと

▲裏面消息　ラルセン氏は今…所に依れば獨商シーメンスシュッケルト會社の傀儡となりてラ氏名義の下に借款成立したるものなりと云ふ

▲抗議提出　支那政府が聯合…

朝鮮公論

十二月號

吉會線速論 / 字内の大勢と戰後の經營 / 鮮人の外容と迷想の生活 / 初めて滿洲を見て / 國運の興隆と新宣言 / 大陸發展 / 有賀光豐論 / 我國の鑛業 / 南洋の研究 / 山本氏の虎狩 / 戰後の大策 / 日貿易の前途 / 初めて朝鮮に來て / 中佐の娘愛兒を抱いて / 特別大演習陪觀記 / 鮮滿の大錯誤

内地、臺灣、朝鮮、支那各地の書店に販賣す…申込所…京城太平通…朝鮮公論社…振替京城一五七七番

太陽

十二月號

日米の政策 / 支那の表裏 / 高等文官試驗論 / 國際政局の變動 / 海外發展と出稼民 / 去勢に就て / 小石作と米造 / 東洋日本新記事修學校

鑛業講習録

鑛業の智識を得んとする者は見よ!!　新學期開講入學の絕好期　目下入學者には特點あり

大日本通信鑛山學校朝鮮支部

恩師乃木院長

學習院教授　小笠原長生序文　服部他助新著

乃木大將肖像及著者撮影寫眞版數葉挿入　上製總クロース　定價一圓八十錢　並製八十五錢

青年子弟の德性涵養の良典範　學校職員の育英薰陶の好指針

發行所　東京市京橋區日吉町　民友社

賣捌所　京城太平通一丁目　京城日報代理部

歳暮大賣出

籤引景品附

十二月五日より三十一日迄

金壹圓毎に景品券一枚呈上　即時店内に於て景品と引換可申候

特等　東京製桐タンス　…
壹等　…
貳等　…
參等　…
以下全部空籤なし

Ⓗ 平田商店

京城本町一丁目　電話…　振替京城一六九五番

自修英語速成

マスター・オブ・アーツ　ビーチャッペル先生閲　日本學術速成會編

本書に就て…　澤柳博士序　石上先生新著

定價金八十五錢　送料金六錢

最も簡便なる理想の珠算

商業學校講師…前篇金七十五錢…後篇金七十五錢…

發兌　大阪屋號

巴里會議結果
作戰統一と小邦援助 日本出兵要求見合せ

巴里會議の結果は聯合國間の親密を更らに一層增進し陸軍作戰計畫●海軍作戰の統一、潜航艇對抗の方策、聯合與國中の諸小邦に對する財政上の援助殊に羅馬尼に對する給與方法等の問題に關し熟議する處あり會議は十時間に亙りたり聯合與國は日本に對して何等不可能の條件を持出さず能く吾人の努力を承認する處あり之に對し吾人の意志も土地、材料、時間の許す限り援助を吝むものに非ざるを明かにする處ありき聯合各國民に對して表明せられたる決議文中にて日本國民も亦商業上の特別利益を犠牲とするの覺悟あるを明かにせり(日日電報)

獨議會交渉承認

獨逸帝國議會は殆んど滿場一致を以て宰相ヘルトリング伯の對露交渉開始の聲明を承認し政府信任案は第二議會を通過せり(アムステルダム電報)

『獨逸は多くを望まず』

伯林來電=獨逸外相キュールマン氏は帝國議會に對し聲明して曰く若し協商國にして平和を希望せば獨逸は多大なる要求を爲さざる可し(倫敦電報)

明年度豫算說明
歲入出七億二千餘萬圓 國防の充實を一義とす

三日午後六時大藏省は左の如く明年度豫算に關し市來大藏次官の說明を發表せり大正七年度歲入歲出概算は今尚未確定の計數を含むを以て後日異動を生ず可しと雖も今其要領を擧ぐれば左の如し(東京電報)

▽歲出
經常部 四億八千八百十萬圓
臨時部 二億三千四百四十萬圓
合計 七億二千二百五十萬圓

△第一 今や我國未曾有の時局に際し將來に向て國運の進展を策す可き時期に屬す此秋に當り大正七年度豫算の骨子たる可きものは國防の充實を第一義とし時局に應ず可き必要なる諸般の施設を主眼とせざる可からず此所を以て(一)國防の充實に就ては出來得る限り必要なる計畫に應ず可き經費を計上するに努め(二)時局に伴び將來に向て國運の進展に資す可き施設就中產業の發達敎育の振興及び交通機關の整備等に就ては之に必要なる經費を計上し(三)一般普通の經費に就ては努めて之を節減するの方針を執れり

△第二 右の方針に依り編成したる概算の金額は左の如し

▽歲入
經常部 六億四千萬二百四十圓
臨時部 八千十萬圓
合計 七億二千二百五十萬圓

△第三 右の歲出に屬する經費の主なるものは左の如し
▼西伯利丁公使館及び成都、雲南、ペトロパウロスク、ケープタウン、巴奈馬、各領事館新設費四十二萬四千圓
▼荒川上流、加古川、岩木川、神通川改修工事費繰上及び筑摩川球磨川改修費 四百十一萬三千圓
▼藥用植物調査費 一萬七千圓
▼國庫倉備金增加 二百萬圓
▼議院建築費 三十一萬圓(總額七百五十萬圓十箇年繼續)
▼田畑地價調査費 三十萬圓(總額九十三萬五千圓三箇年繼續事業)
▼國政調査費 九萬四千圓(總額二百十五萬三千圓八年繼續費)
▼陸軍々備充實費 九百四十五萬四千圓(右の內臨時部に屬する營繕及び初年度調度費は總額五千五百八十六萬三千圓にして十八箇年繼續費)
▼海軍航空隊衛設費 百五十八萬圓(右の內臨時部に屬する設備費は總額五十八萬圓にして四箇年繼續費)
▼海軍々備補充費追加 二千五百四十四萬八千圓(總額三億五千四萬八千圓六箇年度間繼續費)
▼海軍水陸設備費追加 六百五十九萬三千圓(總額二千九百二十一萬七千圓六箇年度間繼續)
▼海軍無線電信諸設備費 三十九萬八千圓(總額百十九萬六千圓三箇年度間繼續費)
▼宮城控訴院、仙臺地方裁判所建築費 十三萬圓(總額四十九萬圓四箇年繼續事業費)
▼市町村立小學校敎員俸給 一千萬圓
▼化學研究獎勵費 十五萬圓
▼學校創立費 百三十六萬一千圓(右の內帝國大學醫科大學三十五萬圓總額百三十五萬圓六年間繼續へ[illegible]十一萬[illegible]學校[金澤]十二萬五千圓[illegible]四箇年度繼續△[illegible]高等學校十一萬圓總額六十六萬圓四箇年度繼續△[illegible]高等學校十一萬圓總額六十四萬二千圓四年度繼續△[illegible]語學校[illegible]總額五十一萬二千圓三箇年度繼續△第十高等學校十一萬圓總額五十五萬六千圓[illegible]△第十一高等學校十一萬圓同上△第十二高等學校十一萬圓同上△藥學專門學校九萬六千圓總額四十四萬二千圓[illegible])
▼大阪工業試驗所新設費 七十八萬圓
▼絹業試驗所新設費 十萬一千圓
▼蠶業試驗場擴張費 九萬六千圓
▼土地利用調査費 十二萬七千圓
▼綿羊獎勵費 三十萬二千圓
▼漁港修築獎勵費 廿八萬八千圓
▼製鐵所擴張費追加 一千百五十八萬一千圓(總額二千七百四十七萬七千圓三年度繼續)
▼海洋調査費 十四萬四千圓
▼窯業研究所新設費 二十六萬三千圓
▼東京京城間電信線增設費 三十三萬四千圓(總額七萬二千圓二年度繼續費)
▼內地電信線增設費 八十七萬八千圓
▼無線電信局新設費 十七萬一千圓(總額七十八萬一千圓)
▼電氣工業用發電水力調査費 十九萬五千圓(總額八十五萬圓五年繼續費)(以下夕刊に續く)

財政計畫說明
兩院代表者へ

寺內首相は三日午後二時より首相官邸にて貴族院側の各派代表者を招待し七年度財政計畫に就き勝田藏相より說明する處あり(東京特電)

▲寺內首相は政友會總裁原敬、國民黨總理犬養毅、新政會幹事金杉英五郎の三氏に對し財政計畫の內容を說明する處ありたり(東京特電)

邦商發展の好時機(下)
―外國爲替禁止の一因 日本商品と露國商人―
成鏡北道第二部長 山崎眞雄氏談

子は浦鹽滯在中、或日西商店にて

△絨類の卸屋を 訪問せし際、恰も店主は五名の露國商人と商談中であつた、彼等は露國の產絨地ワルソーの商人で、同地に絨類拂底の爲め態々買出しに來て居たのである、西商店では都合好く其前に日本から取寄せて在荷が潤澤であつたので、商談は譯も無く成立したが、之が日本の製品であると云つても露商等は何うしても信用しない、歐米品の手持ちに成つてゐたものと見做して居たさうだ、即ち粗製濫造をやられぬこと、日本の製造工業の發達せる現狀を

△露國人に紹介 すること、邦商相互排擠するの愚を演せざること、而して時局に對する覺悟を固めて對露貿易の業に從ふならば今日は少くも露領亞細亞に於ける邦商發展の好時機ではあるまいか但し此意見は一般の常業者には首肯されないかも知れぬ、何故なれば外國爲替の禁止されてゐる、貿易尻の決濟は出來ないと來ては甚だ心細からざるを得ない、併しながら露國の外國爲替を禁止したのは強ち經濟上の理由計りではない樣に思はれてならない、予は經濟上の理由を助ける他の

△一因がありは せぬかと疑つてゐる、其れは露國の革命に佳へたる貴族富豪等が、其資產を外國に移すの手段に用ゐられはせぬかの虞れがあることだ、之れは餘りに穿ち過ぎた素人觀かも知れぬが、浦鹽領事館に在る木藤通譯官は、露國の相當身分ある人の夫人から、現金及び貴金屬等十萬圓許りの保管を託されたと予に告げた、此一事を以ても露國人が如何に其資產の保全に懸念してゐるかといふことが分り、同時に露國革命の主張を實現するには、中產階級以上の資產を外國に移すことを防遏するの

△必要を感じて ゐるかが推察されるでないか、其の素人觀は此邊から出たもので、其中ると否とは姑らく措き、兎も角も拓ける東露領は、今や邦商の跳躍に委せられつゝあるのは事實である、而かも不換紙幣を受取つて之を如何に處分さるゝかは予の茲に述べき限りでない、唯邦商の『憂慮』に俟つものと云つて宜からう

東京大連間電線增設
―總額七十萬圓二箇年繼續 東京京城間は來年中完成―

大藏省にては三日午後六時來年度豫算を發表せるが遞信省所管中東京大連間電線增設計畫あり總額七十一萬一千圓二箇年計畫にして來年度に三十三萬四千圓を計上せり來年度中に京城東京間完成の筈なり(東京特電)

香港總督の統治評

京元線京義線兩地方の猛烈な各地方狀況を觀察して歸任せる香港總督サー、[illegible]氏は朝鮮に對する感想として左の如く語れり

朝鮮に於ける過去二週日餘の漫遊は概して最も愉快に試みられたり元山永興方面は左程に非ざりしも新幕南川地方に於ては甚だ滿足なる結果を得たり、各地方官憲警察の援助保護は極めて懇切にて感謝に堪へず、鮮人と內地人との關柄は甚だ親密に融和し居るを見、新附民族は衷心總督政治に悅服の狀あるを認識せり、又農事の改良道路の修築も遺憾なく行屆き朝鮮人は十分に利益の觀念を了解し職務に勉勵し居るを見たり予は香港政府時代に艦隊の巡航し來りて報告せる處に依り鮮人の性質狀態等を承知し居りしが今回實見せる處は全く昔日と異なり居ることを發見したり、今後總督政治の益々彼等を啓發して善良なる臣民と爲し其の効果を奏すべきを疑はず

山本氏凱旋談
生活の激變=意外の副產物=朝鮮產業に對する資料

征虎軍の凱旋を途中に出迎へた記者に對し山本總司令官は意氣衝天の勢を以て語る今回は京城を始め各地官民有志の御援助で大成功を以て凱旋をしたのは實に一行の感謝措く能はざる所である、實に今回は壯快にあつたよ第一生活が死で極端から

△極端に變化 した朝から深夜まで電話がかゝる電報が來る客に襲はれる手紙を書く會議の事務に攻られ一寸の暇もなく色々な俗事に追つかけらるゝ大繁忙の活動世界から頓に山も山殆んど原始的な山奧に攀ぢ入つたので見るもの觸れるもの皆珍らしく

△崇高幽玄な 自然界で彼の雄振何千尺と云ふ大德山の絕頂を攀ぢ上つた時の如き極目山又山に連り人間と云へば征虎軍の一隊の外樵夫さへ見出されぬ其間を銃を肩にして往く時の氣分は何とも云へなかつた猿や其他の獸類が足元から出て谷を越へて向ふの山に逃走する鶴や白鳥や

△東京邊では 容易に見られぬ鳥類が幾列となく群をなして晴空に飛翔する遙か向ふに日本海を雲烟漂渺の間に望む其景の雄大なる兎ても詩や文章でも寫せまいと思つた此行意外に思つたのは我征虎軍に對し各地で眞實に歡迎された一事である特に鮮人側では

△自分の仇 でも打ちに來て呉れたかの如く到處村の古老など迄出て來て感謝の意を述べた是を以ても猛獸の害に對する地方人心の一班を察する事が出來る復た地方到處で官民有志の熱心なる歡迎會の催しがあつたが何處でも官民一同がかくの如く大勢集會するは未曾有の事で恰も征虎軍が官民相互の

△意思の疏通 を圖る機會を與へ呉れた樣なものであると云ふ挨拶を聞た果してさうとすれば我が征虎軍に取つて此上もなき副產物であつた一行には專門の技師も連れて居た事とて北鮮地方の地味や其他の調査もさせて歸つた是は他日

△朝鮮產業界 に貢獻して見たいと思ふ一片微衷の存する所である虎狩は我輩の風變りの道樂で仕事で是は他日國家に對する奉公の資料である

鮮銀行員向滿

一月一日より遼陽鐵嶺旅順三[地の]正金銀行を閉鎖し朝鮮銀行は前記三地に出張所を開設するに決定し居[illegible]

電信收入好況

朝鮮に於ける十月中の電信收入を聞くに通數六十萬六千六百六十二通其の料金八萬七千六百十二圓にして之を前年に比し通數に於て十二萬通料金二萬圓の增を示し[illegible]好調を示し居れり

遞信協會委員會

遞信協會にては組織の諸準備整ひしを以て四日午後一時より局內に委員會を開き諸般の案件を附議する由

石塚總裁催宴

東拓總裁石塚英藏氏は今回本店の移轉と共に家族を引纏め東京に在住することゝなりたるを以て右挨拶の爲め來る十日夜京城記者團を千代本に十一、二兩日は官吏の主なる者及び同夫人を朝鮮ホテルに翌十三日は實業家の主なる人々を花月に招待留別宴を張るべしと

切田氏再渡米

昨夏米國に渡り經濟界其他各方面の視察を了し最近歸朝したる切田太郎氏は先般來入京中なりしが愈々四日朝南大門發列車にて門司に向ひ九州及び大阪地方視察の上來年一月廿日迄東京に滯在の豫定なるが氏は紐育浦中村精七郎氏の義俠的精神と最大の厚意とに感激して同氏經營の中村組に入社し且つ總督府の[illegible]を受け日米貿易及び米國敎育視察の爲め一月下旬再び渡米の途に着く筈因に滯京中氏の視察は再三讀者に紹介なる所ありしが同氏匆卒の砌と記者の識記等にて因り未だ充分に日米貿易の近況を盡さず氏渡米の上は新たに氏の經綸觀を紹介する所あるべし

新入營兵著發

二日午前釜山入港陸軍御用船御吉野丸にて第十九師團步兵第七十八聯隊へ入營すべき廣島、山口、松山、岩國の各聯隊區內の壯丁八百十三名上陸午後三時より釜山市內及び龍頭山を見物し同五時半發にて龍山に向へり(釜山)

人事消息

▲奥田[illegible]氏(代議士) 三日朝入京朝鮮ホテルへ
▲加茂熊二氏(小野田セメント社員) 同天惠樓へ
▲王城寺次氏(大倉組社員) 同上

重要電報 欄外に在り

百聞百種

目下懸賞募集中の改鑄五十錢銀貨の意匠圖案應募者は既に千七八百餘に上つて居る相な▲應募者中には生粹の朝鮮人は無論臺灣人の顏觸れも見えて居るとか▲締切は今月の二十五日で銀行代表者早川千吉郎小山健三兩氏立會の上正式に發表される筈である▲現に瑞西で流通して居る一金貨も懸賞募集の結果に出來たものだが▲其の圖案は同國第一の美人をモデルとしたものである▲處が其のモデル美人は自分の肖像が一國の通貨にまで鑄込まれたゝめ▲狂喜の餘り遂に發狂して死んだと云ふやうなローマンスも傳はつて居る▲まさか日本の通貨には八千代や萬龍の似顏が引ツ張り出されることもなからうけれど▲中には餘ツ程新らしい風變りものも少なくはない相な▲扨て何う云ふのが出來る事か待遠しいのは應募者許りではないワイ

憲法議員選擧結果

露國憲法會議々員選擧の結果は帝政運動と關係無し、芬蘭及び南露と同じく共和政府を建設し露都の過激派と關係を絕たんとするものなり。

黑井中將通過

旅順要港部司令官黑井中將は三日朝[illegible]

[illegible]所に於て道技手山本致己氏の立會の序を以て視察の爲め臨陂川崎慶[illegible]查定りたるが何查定の公正を勸[illegible]を經て三十日來群一泊翌二番列[illegible]

滿鐵堀技術局長は十一月廿九日來群引込線其他各所を視察一泊の[illegible]翌三十日二番列車にて出發せり

[illegible]督軍の饗宴に臨む可く四日は馬家[illegible]涉使の午餐會に臨み五日は日蒙佛[illegible]招待にて[illegible]十四日京城著十六日南大門發釜山より歸東の豫定なり(奉天特電)

米大使館附武官

[illegible]

法人登記公告
遂安地方金融組合登記事項中地番改定ニ依リ左記ノ通リ變更[illegible]
[illegible]
大正六年[illegible]月[illegible]日
海州地方法院瑞興支廳

富の道しるべ 山縣五十郎 村上唯吉 共著 價十五錢 郵稅二錢 京城日報社代理部

京日案內 [illegible]

店員數名募集 本人來談 京城本町二 海市商會 124

外勤社員招聘 履歷書携帶來社あれ 遠隔は履歷書送附 京城黃金町二丁目 共保生命出張所 117

活版 印刷機械 [illegible] 京城明治町 [illegible]

店員入用 至急 二十歲迄二名 希望者本人來談 市內要保證人 京城本町一丁目 織田東洋館

店員入用 但日本人に限る 英鮮語を解する者一名採用す 希望者履歷書郵送を乞ふ 京城郵便局私書函二十七號 116

年金 恩給 低利 即時立替 確實 五年半迄保險不要 京城永樂町 118

商業見習生 一名採用す 商品陳列館前下角 江州屋本店

社員を募る 思想堅實にして努力的精神に富む人を望む 京城本町 天日精米所 108

運輸日報 堅志洞三十九 電話一四二三 [illegible]

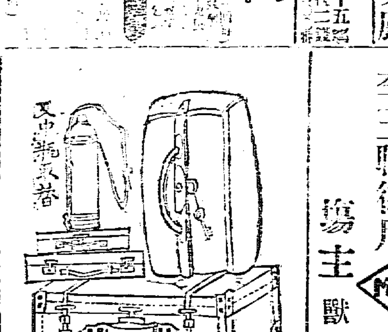
恩給 立替 年金長期低利即時 三年分迄保險を要せず 手數極安 京城日の出町十一 日の出學校裏門外前 吉田屋 90

はねつぎ うちみ くじき 一切の治療御依賴に應ず 明治町 柔術道場 87

朝鮮語科 英語科 學期 三ケ月修業 各級補缺募集 南大門通漢城銀行向ひ 京城青年會 768

勸業債券買入 東京の月報社と同値段に申受候 京城西小門町九六 電話二八三一番 日本光國會社支部 104

大正七年 國民日記
定價五十錢 (郵稅八錢)
日記界中の霸王として日記界の記錄を破れる我が國民日記は總ての點に於て日本國民生活の記錄として要求する所を具備し愈々本日より發賣す此の新案の完美と新版の威容とを見よ而して大正六年の國民日記は尚多大の需要ありしにも不拘品切れの好況を呈せし實例あり此の際後れて悔ゆる事勿れ
發賣所 東京 民友社
朝鮮發賣元 京城日報代理部 京城大平町二丁目 振替京城三〇〇番
取次販賣店 大阪屋號書店 巖松堂京城店 日韓書房 ウツボ屋書店 其他京城日報各地支局



旅行具專業 岩田カバン店 京城本町二丁目 電話五九四番

今回李王職牧場の一大光榮 李王職牧場の乳牛全部(純粹エアシャー種有名優秀なる系統牝牡成牛拾參頭)特命御拂下と相成り乳御用と牛乳御用との光榮を併せ蒙り候間一層品質純良なる牛乳を廣く發賣仕候間倍舊御用命奉仰候 敬白 京城蓬萊町四丁目(電話五一二番)
李王職御用 M.K 東亞牧場 場主 獸醫 肥塚正太

一般治療 藥價及 輕減 主任 醫學士 日本齒科 近津義堯 京城永樂町二丁目(播本印刷所前) 齒科 口腔外科專門 チカツ齒科醫院

て勝利を占めたり（哈爾賓電報）

●オムスク獨立の眞意
西比利亞のオムスク政府は[illegible]に至り斷く解散せり（ベルン電報）

●社會黨又復平和運動
十一月二十六日朝伯林にて午後又復獨立社會黨の平和運動起り警戒嚴密なる警官の干渉により[illegible]

●群山全羅北道穀物檢查所にては新規則に據る標準米の認可を受くる爲め其査定を爲すべく一日同檢査[illegible]

●總督府青木庶務課長は全北實業家招待會臨席の爲め全州に出張[illegible]花月に於て招宴を張りたるが出席者多數にて盛會なりし

●局長來群[illegible]大和ホテルに入りたるが奉天に三日間滯在三日は總領事館及び督軍公署等の支那側を訪問夜は張[illegible]九日安東縣に赴き十一日新安州十二日平壤十三日鎮南浦を經て[illegible]（奉天特電）

除隊になるまで

◎地方人の模範に なれよと中隊長の諭へ

住み馴れた兵舍に別れる哀しみが歸郷の樂しみに躍る心にも湧いて

愈々除隊の日が來ると慈父のやうな中隊長は懇ろに諭んで懇々と言つて聽かせる、曰く『惣うだ、皆は歸郷するについては種々の土産物を持つて行くであらうが皆が百の土産物より立派な土産物がある筈だ、それは必らず忘れぬように持ち歸つて貰ひたい、大切な土産物とは即ち三年間の軍隊生活によつて得たところの健全なる精神と萬苦に堪へ得るところの健康とである、皆の中には三年も軍隊生活をして來たがといふので村へ歸ると親類縁者の家へ顏出しと遊つたりをしたり

▽友達に招かれたりして酒食の快を貪りつゝ半月も一箇月も無爲に暮す者がある、これは實に詰らないことで嚴格な軍隊生活から猝かに斯かる放縱な生活に移ると第一に健康を害ね易い、酒池肉林に惑溺する内には折角發び來つた健全な精神をば壞し易い、だから行かねばならぬ在郷軍人會や、町村役場には一日も早く挨拶に赴いて將來のことを頼むがよろしいが、その外の所には夜の暇を利用しても行くべきである

▽國民の義務とはいへ三箇年間も家を離れて奉公して居つたことだから歸郷したならば一刻も早く元の汚ない著物を著て鋤鍬を執つて三年間家を明けて滞らした家事を片づけてゆくようにせねばならぬ、それから處世上の方針だが、軍隊生活に於いて修養した攻撃的即ち積極的精神を利用して人が十時間働くところは十一時間働くようにして滞つてる家事を成るべく早く處理して終はねばならぬ軍隊に於いて鍛錬した健全な精神と體力とは充分これに堪へ得る筈なのである、次ぎに地方人側に對する場合はよく自己の擧動を愼んで決して粗暴な振舞があつてはならね、今日の

▽徵兵忌避の原因を尋ると多くは兵役を斷めて歸つて來たものが酒を飲むことを覺ねて來た、田舍に住むのを嫌つて都會へ出たがる、一體に贅澤な風に染んでくるのでその親達からして兵隊に出すのを嫌がるのである、然らいふことのないように自から行ひを戒しめて善行證書を貰つて來た名譽を辱かしめのないようにし地方人模範になるのは軍隊に對する一の義務であると言はねばならぬ――懇んな訓示を有難く聽いてその日が來ると

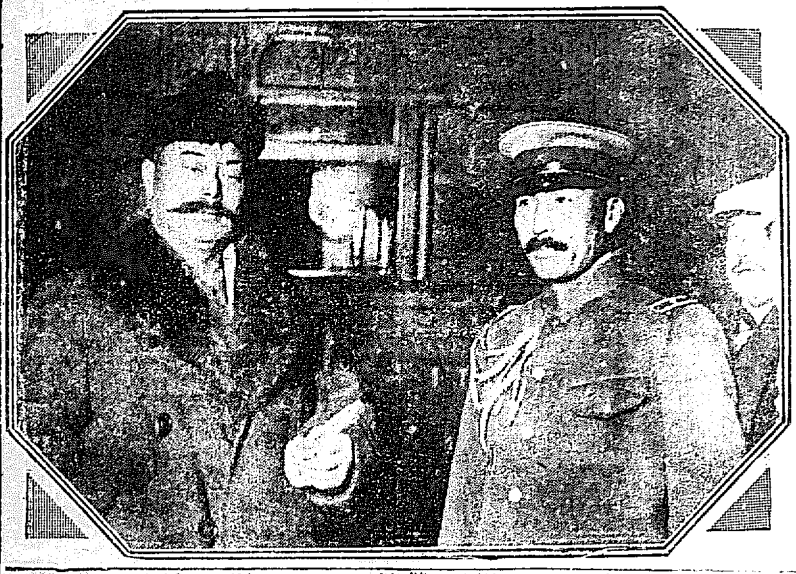
▽著馴れた軍服を和服に著代へる
ホッと重荷を下したやうな氣がして三年間仕馴れた兵舍や中隊の上下の人とも此の日で別れを告げねばならぬと思ふと歸路の樂しみを胸に描きながらも別離の哀愁を覺ゆるそうである（をはり）

◎曹洞宗新管長 石川素童師就職
曹洞宗管長日置默仙師は十一月二十一日辭職退任に就き後任管長に石川素童師就職の件文部省より許可されたり（東京特電）

◎敵艇を擊破した 鹿島丸歸る
一彈を以て敵のテレスコープを破壞したる郵船鹿島丸は三日長崎に安着せり（長崎電報）

◎急に寒く爲つた 三寒季に入る
二日の朝は攝氏五六度で十二月の候としては[illegible]（京城方面にて[illegible]）

二日朝低氣壓の中心が二個有り滿洲各地は北の強い風吹き雨が之に伴ひ[illegible]鮮地方には雨の所多く京城の如きも強く又は雨を見た譯である而して南鮮地方は快晴であつた其他は概して[illegible]であつた所が低氣壓の中心は徐々に東方に向つて進み三日朝には日本海の中部に遁走し去つて其中心は約七百五十二粍前後に降り一方支那大陸及び蒙古地方に亙つて高氣壓が發達し其の示度七百七十粍に達したので此の高氣壓と低氣壓との氣壓傾度（傾斜）が約二十粍近い爲めに二日夜來各地とも天候恢復すると共に北西の寒風強く大氣乾燥せるを以て所謂三寒季に入つたものである之を例年の温度に比べると恰度例年程度の寒氣である



凱旋した山本征虎團長（右） 左は出迎への高橋總督府附武官

◎凱旋車中の征虎團 沸くやうな賑ひ
[illegible]二日夜元山に到著した征虎團は三日午前九時四十五分元山驛發京城凱旋の途に就いた、征虎從軍紀者一行は北鮮の山野を踏破した一行も日頃の疲勞の色も無く車中は例に依り與太や氣焔で大賑ひ、果ては一行の意氣の旺な所を天下に示す可く

◎○運動會を催す事となり太田國民子外數名が委員となつてプログラムを作つた、競技には徒歩競走あり相撲あり庭球野球其他十餘種もある、何れも昔取つた杵柄で老體肥滿の田村團長までが敵番の競技に出場する程の元氣であるから人數の

◎○尠い割合に賑んなものであつた、運動委員の協議中山岡萬朝子は左の如き征虎軍凱旋歌を作つた

（一）[illegible]

（二）[illegible]

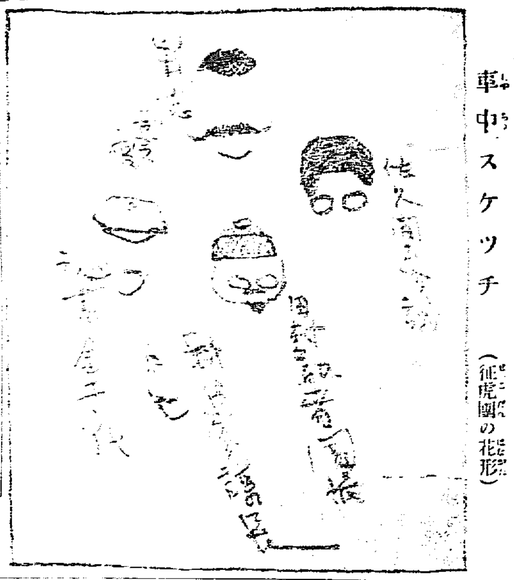
（三）[illegible]

一行が列車も割れん計りに高唱しつゝ平康驛に到れば出迎の爲め新聞記者や

◎○千代本の女將など十數名がどやどやと入つて來て成功を祝ふやら長途の遠征を犒らうやら車中談は益々花が咲いて賑やかな事は一通りでない、一行は京城から取寄せた辨當に舌鼓を打ちつゝ、諸政府に到れば第五班菊谷力藏が永興郡の山中で猪を第四班の宮田富三郎が文川郡山中で

◎○大猪を斃したと言ふ電報が來たので更らに一層の活氣を呈した、斯くて南大門に到著したのは定刻より遲れて六時、此より長官、南大門驛には高橋武官、石原事務官其他多數の出迎あり朝鮮音樂隊の奏樂は爆竹の音と共に耳を聾する計りに響いて物々しき裡に一行は意氣揚々下車し各指定の旅館に引揚げた

▽朝鮮ホテルで 解散式擧行
京城に凱旋した征虎軍は五日朝鮮ホテルに於て解散式を行ひ山本團長、三郎氏外松昌洋行店員及び觀戰記者團の一部は六日京城引揚げ內地に向つて出發の筈なるが山本氏は福岡縣に立寄り多分十五日頃歸京すべく記者團の一部は木浦、平壤其他の方面を視察す可し



車中スケッチ（征虎團の花形）

▽本舞臺は是れから
征虎軍幹部及び記者團は北青を距る十數里北方歸落嶺山中に於て差龍根、李光浩二隊の合同狩を觀戰する筈なりしも砲手より觀戰の爲めに自由に活動をなす能はざる虞あれば入山を中止せられたしとの希望あり勞々一行も砲手と共に

◎○崎山峽谷の踏破[illegible]り上げて三日午後六時歸京したるは勿論なれば豫程を二日間延ざるは[illegible]各方面に於て狩猟中なる砲手は何れも一頭を斃す迄は山を降らずとて殆んど決死的に奮闘中なれば一行引揚後も吉報頻々として到る可く豫想さる尚今回の虎狩は氣候の

◎○極めて温暖にして一行の活動意の如くならしも北鮮海岸地方の山嶽には雪未だ積らず爲め虎豹の所在を確しても判し難き爲め戰士に取りては狩猟困難を極めたるが必勝を期したる戰士は寢食を忘れて奥地方面に踏み入り遂ひに歸落嶺に違反する

◎○積雪尺餘の山中に於て既報の如く巨虎二頭豹一頭を斃したり這は專門家の全く意外に感じたる所にて何れも同士の苦心と非凡の手腕を賞賛せざるは無き程なりき然し乍ら二日以來北鮮の天地は豫言として寒氣頓に加はり海岸に迄及ぶ白皚々たる有樣なれば此れより愈々征虎軍活動の本舞臺は開けて北鮮の天地鬼神をも驚かす大活劇は降り積む雪中に於て演ぜらる可し

◎御眞影を盜まる 小學校の失態
[illegible]郡[illegible]本村の小學校にては御眞影を何者にか竊取され目下犯人嚴探中なり（大阪特電）

◎小倉製作所燒失
三日午後一時小倉製作所より出火倉庫及び民家三戶を燒失鎮火せり（小倉電報）

◎昌慶苑の獅子 兒を產んだ
昌慶苑動物園の獅子（牝）は一兩日前の午後二時頃と同夕刻と都合二頭の仔獅子を產んだが今度のは男親の獅子が本年三歲の仔獅子であるから體が非常に少さく漸く犬の子位ゐの大きさである、未だ產み立てのホヤホヤであるから母親の獅子が確かり抱て後肢の間に二頭とも隱してゐるので未だ牝だか牡だか何れとも判明しない併し受胎してから三四箇月しか經たぬので果して完全に發育するや否やを氣遣つてゐる、さうして親獅子は仔を產でからといふものは非常に人の來るのを厭がるから今では幕を張つて觀覽人に見せない樣にしてある。因みに此の間重病に罹つた例の象クンは危篤といふ程でもなかつたが一時は可成りの重病であつたので、嫌ひなブランデーを一日に牛打も砂糖水に混せて無理に飲ませて血液の循環や通便の作用を促したので、近頃は御蔭で全快したと下郡山主任と湯淺獸醫は記者に語つた

◎車止に衝突して大破 即死二名重輕傷二十四名を出す
京都行列車山陽線上瀨野の信號所にて

二十七日午後九時十六分山陽線上瀨野信號所にて同日午後二時五十九分京都へ向け下關を發したる三等直通列車が側線の車止と衝突し大破損を爲せるが旅客大阪北濱三丁目池原利介方仲買店員三上繁重（三〇）廣島縣賀茂郡能野跡村久米八重野（三〇）の兩名は即死し二十四名の重輕傷者を出せり三上は兄の葬式に赴き歸途此の災難に遭ひしなりと（大阪特電）

▲死者は一名 との別報
二日午後下關發京都行列車が同九時十分廣島驛附近上瀨野信號所通過の際側線に侵入し車止を突破し機關車郵便車並に旅客車二臺を破壞し死者一名重傷者一名其他負傷者二十名を出せり原因は取調べ中（門司特電）

◎連絡船の延著
三日夜釜山に入港す可き連絡船壹岐丸は風波の爲め午後十時に至るも入港せず大いに延著す（釜山特電）

◎詐欺事件判決
既報大阪錦町黑川國治（五三）に對する詐欺共有土地賣却に關する詐欺被告事件は三十日午後一時大邱地方法院に於て多田判事係りにて被告黑川國治を懲役一年に處し二年間刑の執行を猶豫する旨宣告あり尚被告は町田吉川等と協議の上吉村鏡[illegible]に對し非常に[illegible]き旨言ひ渡されたり（大邱）

うわさ
京城地方法院刑事部長田中判事の話によると犯罪の手段方法の中で朝鮮人犯人の詐欺程念入りでそして巧妙なものは無いと思はれる▲何でも土地や建物なぞを種にして他人から詐欺する場合など犯人の本性は遠く朝鮮の中に隱れて居つて仲介人を何名でも使つて必要な關係書類は一から十迄僞造づくめ▲必要な印判の樣なものでも一軒の印舖に決して一字以上彫刻させない、一旦彫刻したものを巧みに接合して『何々郡廳』とか『何々法院出張所』とかに拵らへる▲併かも夫れが實際に其の官廳で使つてゐる印章の文字と寸分の相違がないから或は其の官廳が實際に所有權の證明でも交付したのではあるまいかと疑はれる程巧妙である▲迷惑なのは全く印章を僞造された官廳などである▲更に驚くべきは此等の犯人が何者やら何所に棲まつて居るものやらを探し出すことがなかなか困難で其行り方の複雜なる爲め眞犯人を突き止める迄には容易ならぬ手數がかゝる▲同じ犯罪の中で詐欺だけは內地人の眞似の出來ない方面のものが幾らもあるとの事

□記者校正應募者へ 通知を受けざる方は採用されざるものと承知せられ度し

青島デー 滿員御禮
御愛用各位の多大なる御同情に依り昨夜初日の盛況を見るを得候殊に滿員の盛況を呈し候段難有仕合に奉存候尚引續き御來場の程奉懇願候
各位 青島出張店

最新刊
[illegible]
大阪屋號書店 京城本町二丁目 電話二〇八六・振替京城二五七

貿 田村質店 黃金町二丁目長橋町 電話九一六番 商品質入保管利取扱

醇良清酒

大阪府堺市 醸造發賣元 兜塚源次郎
京城本町一丁目 特約販賣店 佐藤牧太郎（電話長二九番）

新田帯革
朝鮮總代理店 京城本町四丁目 白神洋行
京城南大門外 白神洋行支店
新田ベルト調帶
定價表申込次第送呈

優等清酒

福岡縣三井郡山川村 醸造元 富安本店
京城永樂町二丁目 發賣元 富安京城支店 電話一二三九番

京城電氣會社製 特約販賣 コールタール
龍山漢江通り八（電話四九五） 金物商 島田忠作商店

實行自在 誰にでも容易に出來る魔術の祕傳 魔術千里眼 【珍書圖解】
●讀心術 ●遠方の人と話す法 ●密封した書狀を讀む法 ●即座雷返り術 [illegible]
的確 心中千里眼
以上特價六十五錢 東京下谷區初音町三ノ九 東京性理學會

廣告
今般鯨肉類の販賣方を左記香月源太郎へ特約致候に付此段廣告仕候也
大正六年十二月
東洋捕鯨株式會社朝鮮支店

鯨肉類の營養分に富み味亦牛豚肉に劣らずして而も價の低廉なるに依り近來朝鮮內地に於ても主要なる食料品として用ひらる〻に至り上下の御家庭に御賞用致され候處常に家庭の需要に應じ得ざる事多く遺憾に存じ居り候處今般東洋捕鯨株式會社と特約を結び京城に於ては當店にて一手販賣致す事と相成り候に付何卒多少に不拘御用命被下度候

東洋捕鯨株式會社特約店
京城明治町二丁目四十八番地
鯨問屋 香月商店
電話（架設中 當分取次一〇四六番）

櫻御殿

第八十五回 大阪 霞の家主人

秋の潮(七)

助左衛門はお藤の健気な詞に感激して

『一期半期の奉公人には似ぬ詞、過分に存ずる、併し、傳首に聴かせる満之亟でない、すれば…大死ぢや』と目を潤ませる

『さらばわたくしが参つては…ございませう、満之亟…ではございますまい、…を捧へたら、少しは心も…うかと心得ます』

釆女は釆女の手段を語つた

『いや〳〵』と助左衛門は…て『お身達の云ふことに耳を貸さ…満之亟か、年齢にこそ三五歳の相違あれど、幼い時から同じ寺の…について、學問手習ひを倶にし…互の心を知り合つた乃公の言ふことさへ、横耳で聞く剛情者ぢや、初瀬殿のお首級を持参せずに、千に一つの承知はない、所詮行く道は只一筋ぢや、明日の朝は御意得やう、それまでに克く考へてお置きなされ』

『心得てございます』と初瀬は沈著いた聲で云つた

『お藤も未練を起すまいぞ、こゝで未練らしい事を云ふは、初瀬殿に不奉公ぢや』

『はい』とお藤はまた泣き入る

『それにつき釆女に申し聞けることがある、此へ參れ』

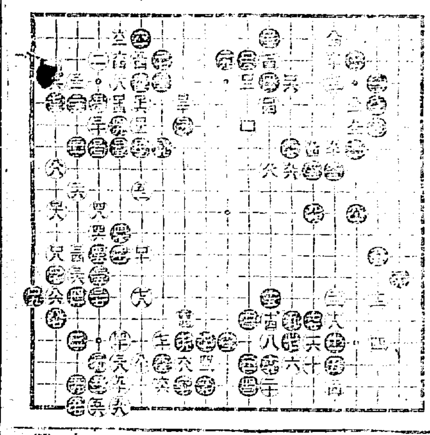
助左衛門は座を上つた、釆女は後に心を殘しつゝ『はい』と從ふ

…『そんな…ませぬ』と…て『死んでは…ありませぬ』わたくしが今日御…に參つて、斯うした場へ行き當るも、…様佛様のお引合せと存じます、こゝにお在で遊ばしては、大矢田様の意地とやらで…りませぬ、それにはお命が入用でございます、下世話にも云ふ命あつての物種、こつそりお逃げなされませ、わたくしの在所…は、眞の草深い片田舎でございますが、人の首を欲しがるやうな鬼々しい者はをりませぬ、身に替へて…

…もお話して、旦那様のお部屋の…ふやうに致します、御實家にお在で遊ばせばこそ、大矢田様の…もあなたでございませう、…お行方知れずば、草の根を押し分けて、お命を取らうとも仰せ遊ばすまい、斯う申しては如何なれど、…お命にかけて…あなたのお首級を守ります』と…

…

圍碁手合(六)



朝鮮高麗人蔘直取引商

人蔘エキス本舗 京城本町一丁目(郵便局前) 顧問 藥剤士 津村兄弟商會

支店 津村商會支店 龍山支店 大邱支店

其他全道の藥舗に販賣致居候萬一御地方に無之御方は直接本舗に御注文次第御送付仕候

南山の砂糖護謨賣一庫

内科小兒科 外科 肛門科

京城本町五丁目(稲荷尾前) 大和病院 入院隨意

MITSUWA COMPOUND GINSENG TABLETS

This new remedy, which contains Iodine and … Ginseng an infallible remedy from ancient … Iodine, it is efficacious for aneurism, arteri… ous heart diseases. It is also unrivalled … congestion of the brain and other nervous … with Ginseng, which has in itself the wonderful …

○ミツワ複方人蔘錠

みつわ・ふくはうにんじんちやう

…に決定於(?)素劑を配合せる

…の著効を奏す

○ミツワ複方人蔘錠適應症候

- 一、…
- 一、心臓の…
- 一、呼吸の苦しい人
- 一、胸部の…
- 一、中風の人
- 一、手足の冷ゐる人
- 一、水腫のある人
- 一、身體の倦怠い人
- 一、筋肉の萎縮んで居る人
- 一、皮膚の弛むで居る人
- 一、頭痛に苦しむ人
- 一、眩暈に苦しむ人
- 一、時々氣を失ふ人
- 一、元氣良く活動したい人
- 一、延命長壽を願ふ人

以上の他ミツワ人蔘錠を服むべき人は之を用ひて宜し

(現品縮寫圖)

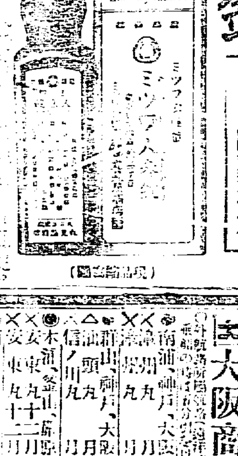
○ミツワ人蔘錠

人蔘を科學的に研究して之を錠劑とせる

みつわ・にんじんちやう

…ヒステリー、ヒポコンデリー…

○ミツワ人蔘錠適應症候



(現品縮寫圖)

定價 百錠入 金五十錢 五百錠入 金二圓 内地以外は郵税實費を申受く

日本郵船仁川出帆

大連行、太沽(天津)行 相模丸 十二月…日 / 高砂丸 十二月十二日 正午 / 三河丸 十二月廿一日

仁川府港町 日本郵船 回漕部

大阪商船仁川出帆

南浦、神戸、大阪行 …

朝鮮郵船出帆

- ○關門より釜山各地經由雄基行(但し×印あるは江原道寄港せず) ×三浦丸 十二月四日 ×咸鏡丸 十二月十日 ヘ京城丸 十二月十五日 ヘ忠清丸 十二月二十日 釜山發
- ○元山より北鮮各地經由雄基行 穩城丸 十二月… 元山發
- ○元山ヨリ釜山關門行 京畿丸 十二月五日 三浦丸 十二月十五日 元山發
- ○浦塩行(元山より…經由) 平壤丸 十二月一日 元山發
- ○元山ヨリ門司經由釜山關門行 第二商運丸 十二月二日 忠清丸 十二月十一日 元山發
- ○鬱陵島行 浦項及各地經由 慶德丸 十二月二日 釜山發
- ○浦項行(長生浦方魚津甘浦九龍浦經由) 江陵丸 毎日 釜山發
- ○濟州島行 長承浦麗水巨文島經由 昌平丸 十二月六日 釜山發
- ○釜山、麗水間 巨濟丸 毎日 釜山發
- ○濟州島行(東廻 西廻) 東廻 公州丸 十二月五日 西廻 慶興丸 十二月七日 木浦發
- ○木浦麗水間(麗水にて釜山行接續) 順天丸 三日目毎ニ 木浦發
- ○木浦ヨリ多島海各島行 慶興丸 十二月三日 木浦發
- ○仁川木浦行(群山其他各地經由) 晋州丸 十二月七日 麗水丸 十二月… 仁川發
- ○仁川鎭南浦行(海州其他各地經由) 宗信丸 十二月四日 仁川發
- ○海州行(江華島喬桐島經由) 全州丸 休航 南陽丸 毎日 仁川發
- ○青島行(芝罘、大連經由) 江原丸 十二月七日 仁川發

釜山支店 / 元山支店 / 仁川港代理店 / 木浦港代理店

大阪米 期米

仁川米豆取引所

◎電信借款經過

◎操短免除會社